

FUD 3300

使用説明書





「Nikon Manual Viewer 2」アプリ いつでもどこでもスマートフォンやタブレットで 説明書を見ることができます。



お使いになる前に、使用説明書(本書)をよくお読みになり、内容を充 分に理解してから正しくお使いください。さらに詳しい説明は、活用ガ イドCD-ROMの活用ガイドをご覧ください。お読みになった後は、お 使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむために お役立てください。

表記について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードを「SD カード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- 本書では、カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。

本文中のマークについて

本書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。

カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきた いことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載してい ます。

本書上で関連情報が記載されているページです。



「Nikon Manual Viewer 2」アプリ

ニコンデジタルカメラの説明書をスマートフォンやタブレットで見る ことができるアプリです。App StoreまたはGoogle Playから無料で ダウンロードできます。

* アプリおよび使用説明書をダウンロードするには、インターネットに接続 できる環境が必要です(通信料が発生します)。

☆安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載 されています。カメラをお使いになる前に必ずお読みください。詳しく はロviii~xivをご覧ください。

カメラと付属品を確認する

お使いになる前に、カメラと付属品が全てそろっていることを確認して ください。



- レンズキットの場合はレンズも付属しています。
- SDカードは付属していません。このカメラで使えるSDカードについては、四91 をご覧ください。
- 日本国内でご購入いただいたカメラは、画面の表示言語を日本語または英語に設定できます。
- •万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

すぐに撮影する方のために

次の手順で操作すると、すぐに撮影ができます。



 バッテリーをバッテリーチャー ジャーで充電する(□11)



3 カメラにバッテリーとSDカードを入れる (□12)





4 レンズを取り付ける (□13)



5 カメラの電源をONにして日付と時刻を設定する(□15)



6カメラを構えて構図を決める(□22)



7 シャッターボタンを軽く押して(半押しして)、ピントを合わせる(□23)



8 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで(全押しして)、撮影する(¹²24)



使用説明書について

このカメラには、2種類の使用説明書が付属しています。



活用ガイドをご覧いただくためには、Adobe ReaderまたはAdobe Acrobat Reader 5.0以降が必要です。

- 1 パソコンを起動し、活用ガイドCD-ROMをCD-ROMドライブに 入れる
- 2 Windowsの場合: [コンピュータ] (Windows XPの場合は [マ イコンピュータ]) ウィンドウを開き、CD-ROM (Nikon D3300) アイコンをダブルクリックする

Macintoshの場合:デスクトップのCD-ROM (Nikon D3300) アイコンをダブルクリックする

3 [INDEX.pdf] のアイコンをダブルクリックする 言語選択の画面が表示されます。言語をクリックすると、活用ガ イドが表示されます。

目 次

カメラと付属品を確認する	i
すぐに撮影する方のために	ii
使用説明書について	iv
安全上のご注意	viii
ご確認ください	xv

お使いになる前に

$2 \mu \mu \mu \lambda \lambda + \tau$	

撮影前の準備をする

か	ん1	こん	に静」	止画 /	動画	を撮影	す	る
---	----	----	-----	------	----	-----	---	---

(🖀 オート / ③ 発光禁止オート) 21

ファインダーをのぞいて静止画を撮影する	22
撮影した画像を再生する(1 コマ表示モード)	25
不要な画像を削除する	27
液晶モニターを見ながら静止画を撮影する	
(ライブビュー撮影)	29
撮影した画像を再生する(1コマ表示モード)	33
不要な画像を削除する	34
動画を撮影する	35
撮影した動画を再生する	39
不要な動画を削除する	41

GUIDE (ガイド) モードを使う

ガイドモード	
GUIDE モードのメニュー一覧	43
GUIDE モードでの操作方法	46

1

11

42

被写体や状況に合わせて撮影する

(シーンモード)

ž	(ポートレート)	48
	(風景)	48
.S.	(こどもスナップ)	48
÷	(スポーツ)	49
٢	(クローズアップ)	49
<u>o</u> *	(夜景ポートレート)	49

特殊効果をつけて撮影する

(スペシャルエフェクトモード)

50

48

\mathbf{Z}	(ナイトビジョン)	51
٧I	(極彩色)	51
POP	(ポップ)	51
D	(フォトイラスト)	51
3	(カラースケッチ)	52
Ð	(トイカメラ風)	52
	(ミニチュア効果)	52
Å	(セレクトカラー)	53
à	(シルエット)	53
Hi	(ハイキー)	53
Lo	(□-+-)	53
ġ	(HDR ペインティング)	54
	(かんたんパノラマ)	54
	(かんたんパノラマ)で撮影する	62
パ	、	65

	P :プログラムオート	
	S :シャッター優先オート	
	A:絞り優先オート	
	M:マニュアル	
	画像の明るさを調整する (露出補正)	70
メニ	ューを使う	72
	メニュー項目の一覧	
Viev	vNX 2	79
	ViewNX 2 をインストールする	
	ViewNX 2 を使う	
	パソコンに画像を取り込む	
	画像を見る	
資料		85
	使用できるレンズ	
	使用できるアクセサリー	
	推奨 SD カード	
	カメラのお手入れについて	
	保管について	
	クリーニングについて	
	カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意	
	カメラの取り扱い上のご注意	
	バッテリーの取り扱いについて	
	警告メッセージ	
	主な仕様	
	電池寿命について	
	ニコンプラザのご案内	
	修理サービスのご案内	

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。 この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危 害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みに なった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。 表示と意味は、次のようになっています。



お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



	Z	⚠ 警告 (カメラとレンズについて)
	分解禁止	分解したり修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
8	接触禁止 すぐに修理依頼を	落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に 手を触れないこと 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 バッテリー、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依 頼してください。
¢ 0	バッテリーを取る すぐに修理依頼を	熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに バッテリーを取り出すこと そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 バッテリーを取り出す際、やけどに充分注意してください。 バッテリーを抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼して ください。
\otimes	水かけ禁止	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしない 発火や感電などの事故や故障の原因になります。
\Diamond	使用禁止	引火、爆発のおそれのある場所では使わない プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガス や粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因にな ります。
\bigcirc	使用禁止	レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと 失明や視力障害の原因となります。
\bigcirc	発光禁止	車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと 事故の原因となります。
\bigcirc	発光禁止	フラッシュを人の目に近づけて発光しない 視力障害の原因になります。 撮影時には、1m以上離れてください。 特に乳幼児の撮影には注意してください。
⚠	保管注意	幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。
A	警告	ストラップが首に巻き付かないようにする 特に幼児・児童の首にストラップをかけない 首に巻き付くと窒息の原因になります。

	⚠ 警告 (カメラとレンズについて)
(○ 使用禁止	ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触 れないこと 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
	指定のバッテリーまたは専用ACアダプターを使用すること 指定以外のものを使用すると、事故や故障の原因になります。
	⚠ 注意 (カメラとレンズについて)
感電注意	ぬれた手でさわらない 感電の原因になることがあります。
使用注意	カメラの電源がONの状態で、長時間直接触れないこと 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因にな ることがあります。
全 保管注意	製品は幼児の手の届くところに置かない ケガの原因になることがあります。
使用注意	逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと 太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることが あります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因にな ることがあります。
人 保管注意	使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光の あたらない所に保管すること 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
於移動注意	三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと 転倒したりぶつけたりして、ケガの原因となることがあります。
使用注意	 航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする 飛行中は無線通信機能を使わない 病院では、病院の指示に従う 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響 を与えるおそれがあります。 無線通信機器は、あらかじめカメラから取り外してください。

L	⚠ 注意 (カメラとレンズについて)
	長期間使用しないときは電源(バッテリーやACアダプター)
R	を外りこと バッテリーの液もれにより 火災 ケガや周囲を汚損する原
レディン バッテリーを取る	因となることがあります。
して ノラクを扱く	ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外
	し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火
	災の原因となることがあります。
	内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光さ
	やけどや発火の原因になることがあります。
$\overline{\mathbf{O}}$	布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
	熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあり
	ます。
	窓を閉め切った自動車の中や直射日光か当たる場所など、異
	市に加度が高くなる場所に放置しない 故障や火災の原因になることがあります。
	付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと
	機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼ
<u> </u>	すことがあります。
•	
<u>∕</u> ∿ fi	ご険 (専用リチウムイオン充電池について)
	バッテリーを火に入れたり、加熱しないこと
	液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。
~	

ハッテリーを分解しない			
液もれ、	発熱、	破裂、	発火の原因になります。

電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投

 からしないこと
 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運ん だり、保管しないこと

ショートして液もれ、発熱、破裂、発火の原因になりますの で、端子カバーを付けて絶縁してください。

▲ 危険 (専用リチウムイオン充電池について)		
○ 使用禁止	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL14aに対応して いない機器には使用しないこと 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。 Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL14aは、D3300に 対応しています。	
倉険	バッテリーからもれた液が目に入ったときはすぐにきれい な水で洗い、医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。	
\wedge	警告(専用リチウムイオン充電池について)	
人 保管注意	バッテリーは、幼児の手の届くところに置かない 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。	
🚫 水かけ禁止	水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。	
	変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたとき は、使用しないこと 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。	
	充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること 液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。	
	バッテリーをリサイクルするときや、やむなく廃棄するとき はビニールテーブなどで接点部を絶縁すること 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となりま す。ニコンサービス機関やリサイクル協力店にご持参くださ るか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。	
	パッテリーからもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐ にきれいな水で洗うこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となり ます。	

	Δ	主意(専用リチウムイオン充電池について)
		充電中のバッテリーに長時間直接触れないこと
Ŵ	使用注意	充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因にな
		ることがあります。
		⚠ 警告 (チャージャーについて)
	分解禁止	分解したり修理や改造をしないこと
Y		感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
		落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に
	***	手を触れないこと
	按照宗止 すぐに依理佐頼を	感電したり、破損部でケガをする原因となります。
Ų	9 くに修理試験で	チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関
		に修理を依頼してください。
_		熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに
Ĩ,	プラグを抜く すぐに修理依頼を	チャージャーをコンセントから抜くこと
Ă		そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。
U		チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意し
		てください。ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
\mathbf{A}	과하나착다	水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしない
S	小小り奈正	発火や感電などの事故や故障の原因になります。
		引火、爆発のおそれのある場所では使わない
\sim	伟田林山	プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガス
Q	使用示止	や粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因にな
		ります。
^		電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場
∕!∖	警告	合は、乾いた布で拭き取ること
		そのまま使用すると火災の原因になります。
\sim	使用禁止	雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと
\bigcirc		感電の原因となります。
		雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
۵		ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししない
14	感電注意	こと
		感電の原因になることがあります。

	⚠ 警告 (チャージャーについて)
	チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコン バーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使 わないこと 発熱、故障、火災の原因となります。
	â :::+
	⚠️ 注意 (チャージャーについて)
众 威雷注音	ぬれた手でさわらない
	感電の原因になることがあります。
A	通電中のチャージャーに長時間直接触れないこと
<u>/!\</u> 使用注意	通電中に温度か高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。
A	製品は幼児の手の届くところに置かない
<u>/!</u> 】 ^{放置注意}	ケガの原因になることがあります。
0	布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
\ │ 禁止	熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあり
	まり。

<u>ご確認ください</u>

● 保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買 い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご 購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」を お受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになりま す。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

● カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

https://reg.nikon-image.com/

● カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/support/

● 大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影(結婚式や海外旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常 に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害 (撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等)についての補償はご容赦 願います。

● 本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリー(レンズ、スピードライト、バッテリー、チャー ジャー、ACアダプターなど)に適合するように作られておりますので、当社製品 との組み合わせでお使いください。

• Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aには、ニコン純正 品であることを示すホログラムシールが貼られています。



- ・
 検倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が発 揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火 などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能
 性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

● 使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお 断りいたします。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書および活用ガイドのPDFファイルをダウンロードできます。

http://downloadcenter.nikonimglib.com/

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

● 著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利 者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人とし て楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意く ださい。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で 使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

● カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

SDカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全 には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使って データが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。SDカード 内のデータはお客様の責任において管理してください。

•SDカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にSDカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。なお、ホワイトバランスのプリセットマニュアル画像も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。SDカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。

● 電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用すること を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用 されると、受信障害を引き起こすことがあります。 使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

● AVC Patent Portfolio License に関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものを AVC ビデオといいます)
- (ii)個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、または AVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾 されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.com をご参照ください。

▼ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、当社製のアクセサリーをお使いいただくことをおすすめしま す。他社製アクセサリーは、カメラの故障や不具合の原因となることがありま す。他社製アクセサリー使用によるカメラの不具合については、保証の対象とな りませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサ リーについての最新情報は、最新のカタログや当社のホームページなどでご確認 ください(□xv)。

お使いになる前に

各部の名称

<u>カメラ本体</u>



▼ スピーカーについてのご注意 スピーカーに磁気カードなどの磁気製品を近づけると、記録内容が壊れることが あります。スピーカーに磁気製品を近づけないでください。





31	接眼目当て	43	面ボタン27
32	ファインダー接眼窓	44	SDカードアクセスランプ 24
33	視度調節ダイヤル16	45	バッテリー室カバー開閉ノブ
34	▶ ボタン 25		
35	MENU ボタン 72	46	バッテリー室カバー 12、17
36	९ ボタン 25	47	□ (ů/â) ボタン
37	♀≊ (?) ボタン25、76	48	三脚ネジ穴
38	i ボタン 10	49	液晶モニター8、25、29
39	I ボタン	50	バッテリーロックレバー
40	❸ OKボタン		
41	マルチセレクター76	51	パワーコネクターカバー
42	SDカードカバー 12、19		

モードダイヤル

モードダイヤルを回すと、次の各モードに切り換えられます。

P、S、A、Mモード

シャッタースピードや絞り値、各種設定を自分で決めて、より本格的な撮影を 楽しむことができる撮影モードです。

P: **プログラムオート** (**□**66、67) **S**: シャッター優先オート(□66、67) A: 絞り優先オート (□66、67)

GUIDEモード (□ 42)



オートモード

撮影状況に合わせて、各種設定をカメラが自動的にコントロールするので、カ メラまかせで簡単に撮影することができます。デジタル一眼レフカメラを初め てお使いになる方におすすめの撮影モードです。

AUTO **さ**:オートモード (ロ22)

(分):発光禁止オートモード(□22)

スペシャルエフェクトモード



シーンモード

撮影シーンに合わせて、各種設定をカメラが自動的にコントロールするので、 撮影シーンが決まっているときにおすすめの撮影モードです。

2 :ホートレートモード(山48)	マ:スホーツモード (山49)
🛋:風景モード(🖽 48)	🕏 : クローズアップモード
塔 : こどもスナップモード	(🖽 49)
(🖽 48)	All State (1949) 🖸 🖾 🖾 🖾 🖾 🖾 🖾 🖾 🖾

🖳 (心/諂) (レリーズモード) ボタン

□ (心/î) ボタンを押すと、シャッターをきる(レリーズする)ときの動作(レリーズモード)の選択画面が表示されます。マルチセレクターの▲▼◀▶を押してカーソルを動かし、∞ボタンを押して決定します。



🖳 (🕐/i) ボタン



S	1コマ撮影	シャッターボタンを全押しするたびに1コマずつ撮影 できます。
▣	連続撮影	シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影します。
Q	静音撮影	1コマ撮影に比べて静かに撮影できます。
હ	セルフタイマー	セルフタイマー撮影ができます。シャッターボタンを 全押しすると、カウントダウンが始まり、約10秒後に シャッターがきれます。
â 2s	2秒リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、2秒後に シャッターがきれます。
Î	瞬時リモコン (ML-L3)	別売のリモコンML-L3の送信ボタンを押すと、すぐに シャッターがきれます。

ファインダー (説明のため、全ての表示を点灯させています)





<u>液晶モニター表示</u>

■ インフォ画面(説明のため、全ての表示を点灯させています) ■ボタンを押すと、液晶モニターに次のよう なインフォ画面が表示されます。









 ✓ 液晶モニター(インフォ画面)を消灯するには
 ・シャッターボタンを半押しする
 ・インフォ画面の表示中に、■ボタンを押す 操作を行わないまま約8秒経過したときも、インフォ画面は消灯します(液晶モニターが消灯するまでの時間は、セットアップメニュー[パワーオフ時間] (□174)で変更できます)。

■ 撮影時の設定を変更する

 ・ボタンを押すと、インフォ画面下部に表示されている撮影時の設定を変更できる画面に切り替わります。マルチセレクターの▲▼◀▶

 を押してカーソルを動かし、項目を選んで@

 ボタンを押すと、選んだ項目の設定画面が表示されます。



iボタン



1	ホワイトバランス	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定でき
		ます。
2	画像サイズ	画像を記録するときの画像サイズを設定できます。
3	画質モード	画像を記録するときのファイル形式と画質を設定で
		きます。
4	フラッシュモード	フラッシュのモードを設定できます。
5	ISO感度	ISO感度を設定できます。
6	露出補正	画像全体を意図的に明るくしたり、暗くしたりでき
		ます。
7	フラッシュ調光補正	フラッシュの発光量を補正できます。
8	測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを
		測る方法(測光モード)を設定できます。
9	AFエリアモード	オートフォーカスでピントを合わせるフォーカスポ
		イントの選び方を設定できます。
10	フォーカスモード	フォーカスモード(ピントの合わせ方)を選べます。

撮影前の準備をする

バッテリーやSDカードをカメラに入れたり、カメラから取り出したり するときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。

1 カメラにストラップを取り付ける(2カ所)



2 バッテリーをバッテリーチャージャーで充電する

フル充電するには約1時間50分かかります(残量の無いバッテリーの場合)。



3 カメラにバッテリーとSDカードを入れる

- バッテリーとSDカードは、図のように正しい向きで入れてください。
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しな がら、バッテリーを奥まで入れると、バッテリーロックレバーが バッテリーに掛かって固定されます。







バッテリーロックレバー

• SDカードは、カチッと音がするまで挿入してください。







4 レンズを取り付ける

•ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。



 撮影する前に、レンズキャップを取り 外してください。



5 カメラの電源をONにする



電源スイッチを矢印の方向に回して「OFF」のマークを指標に合わ せると、カメラの電源がOFFになります。



🖉 ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

ズームリングボタンを押しながら(①)、ズームリングを矢印の方向に回して ください(②)。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。





ズームリングボタン

レンズを収納した状態では撮影できません。レンズを繰り出さずに電源をONにして警告メッセージが表示された場合、撮影できる位置までズームリングを回すと、警告メッセージが消えます。



6日付と時刻を設定する

- ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付 と時刻を設定する画面が表示されます。日時の設定が完了するま で、撮影や他の設定はできません。
- マルチセレクターの▲また
 は▼を押して、選択中の項
 目の数値を合わせ、
 また
 は▶で項目を移動します。
- 日付と時刻の設定を完了したら、
 低ボタンを押します。



7 バッテリーとSDカードを確認する



inf₀ボタン

バッテリー残量 (四18)

記録可能コマ数が1000コマ以上あるときは、1000を意味する「k」マークが点灯します。



記録可能コマ数



 ファインダーで構図を決め ながら撮影する場合は、あ らかじめ、ファインダー内 がはっきり見えるように視



度調節ダイヤルを回して調節してください。

- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。
- レンズキャップを取り外し、ファインダーをのぞきながら視度調 節ダイヤルを回し、フォーカスポイントが最もはっきり見えるように調節してください。



✓ チャージャーの使用上のご注意
 ・充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりすると、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。
 ・チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となり

- ●チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となり ます。
- チャージャーを使用しないときは、チャージャーをコンセントから抜いてください。
- •バッテリーチャージャーMH-24対応のバッテリー以外は充電しないでください。
▼ チャージャーの「CHARGE」ランプが速く(1秒間に8回)点滅する 場合

- バッテリーのセットミス:チャージャーをコンセントから抜いて、バッテリーを取り外し、チャージャーにセットし直してください。
- •指定温度外での使用:チャージャーを指定温度範囲内(0℃~40℃)でお使い ください。
- さらに不具合が続く場合は、ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。

▶ バッテリーの使用上のご注意

- お使いになる前に、必ず「安全上のご注意」(□□viii~xiv)、「カメラとバッテ リーの取り扱い上のご注意」(□□93~97)をお読みになり、記載事項をお守り ください。
- ・バッテリーは0℃~40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- ・周囲の温度が5℃~35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- ・バッテリーの温度が0℃~15℃、45℃~60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。

🖉 バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにしてから、バッテリー室カバーを開け てください。バッテリーロックレバーを矢印の方向 に押すと、バッテリーが少し飛び出しますので、引 き抜いて取り出してください。



🖉 バッテリー残量

バッテリー残量は、インフォ画面で確認できます。 残量が少なくなると、ファインダーにバッテリー 警告が表示されます。

・ M ボタンを押してもインフォ画面が表示されない場合、バッテリー残量がありません。



液晶モニター	ファインダー	意味
	—	残量は充分に残っています。
		残量が減り始めました。
	<□	残量は残りわずかです。
	<□	残量がなくなりました。バッテリーを充電し
(点滅)	(点滅)	てください。

▼ SDカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご 注意ください。
- SDカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、 次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やSDカードの故障の原因となります。
 - SDカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください
 - バッテリーを取り出さないでください
 - ACアダプターを抜かないでください
- •端子部に手や金属で触れないでください。
- •無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- ・曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- •熱、水分、直射日光を避けてください。
- •パソコンで初期化しないでください。

SDカードのフォーマット

このカメラに初めて入れるSDカードや、他の機器 でフォーマットされたSDカードは、セットアップ メニュー[カードの初期化(フォーマット)](ロ74) で、画面の指示に従ってフォーマットしてくださ い。SDカードを初期化すると、カード内のデータ は全て削除されます。必要なデータがある場合は、 初期化する前にパソコンなどに保存してください。

SDカードを取り出すときは

SDカードカバーを開ける前に、SDカードアクセス ランプの消灯を確認して、電源をOFFにしてくださ い。SDカードカバーを開けて、SDカードを奥に押 し込むと(①)、カードが押し出されるので、引き 抜いて取り出してください(②)。

☑ SDカードの書き込み禁止スイッチについて

 SDカードには、書き込み禁止スイッチ が付いています。このスイッチを 「LOCK」の位置にすると、データの書 き込みや削除が禁止され、カード内の 画像を保護できます。



 「LOCK」したSDカードをカメラに入れ てシャッターをきろうとすると、警告 音が鳴り、撮影できません。撮影時や、

音が鳴り、撮影できません。撮影時や、画像を削除するときは「LOCK」を解 除してください。

🖉 レンズのフォーカスモードについて

レンズのフォーカスモードが切り換えられる場合 は、オートフォーカス(A、M/A、またはA/M)に設 定してください(使用できるレンズについては、 四85をご覧ください)。







✓ 手ブレ補正機能について

手ブレ補正機能がONのときは、インフォ画面に手 ブレ補正マークが表示されます。

- 撮影メニュー [光学手ブレ補正]に対応したレンズの装着時には、[光学手ブレ補正]を [する]
 に設定すると、手ブレ補正機能がONになります。
- レンズに手ブレ補正スイッチがある場合は、手ブレ補正スイッチをONにすると、手ブレ補正機能がONになります。

🖉 レンズを取り外すには

カメラの電源をOFFにしてから、カメラ前面のレンズ 取り外しボタンを押しながら(①)、レンズを矢印の 方向にいっぱいまで回し(②)、引き抜いてください。 ・レンズを取り外した後は、カメラのボディー

キャップとレンズの裏ぶたをそれぞれ取り付けてください。

🖉 ズームリングボタンの付いたレンズの収納方法

- カメラを使わないときは、レンズを収納してコン パクトにすることができます。レンズを収納する には、ズームリングボタンを押しながら(①)、 ズームリングを矢印の方向に回してください (②)。ズームリング上の指標を「L」(ロック)の 位置に合わせると、ズームリングがロックされて レンズが収納されます。
- レンズの着脱時にズームリングボタンを押さないようご注意ください。
- レンズを取り外す前にレンズを収納してください。

✓ カメラの内蔵時計について

カメラの内蔵時計は、一般的な時計(腕時計など)ほど精度は良くありません。 定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

🖉 時計用電池について

カメラの内蔵時計は、バッテリーとは別の時計用電池で作動します。カメラに バッテリーを入れると、時計用電池が充電されます。フル充電するには約3日間 かかります。充電すると、約1カ月の間時計を動かすことができます。液晶モニ ターに[日時未設定]と表示された場合は、内蔵時計の設定が初期化されている ため、撮影日時が正しく記録されません。もう一度日時設定を行ってください。









かんたんに静止画/動画を撮影 する (習オート/③発光禁止オート)

撮影モード (オート) と③ (発光禁止オート) を 使うと、カメラまかせの簡単な操作で静止画撮影と 動画撮影を楽しむことができます。 (の場合は、必 要に応じてフラッシュが光ります。フラッシュを光 らせずに撮影したいときは、③で撮影してください。



カメラの電源をONにして、カメ ラ上面のモードダイヤルを留ま たは③に合わせます。 モードダイヤル



ファインダーをのぞいて撮影する





静止画を撮影するには ⁽¹⁾22
 ・再生するには ⁽¹⁾25
 ・ 削除するには ⁽¹⁾27

削除するには [□]27

液晶モニターを見ながら撮影する



ファインダーをのぞいて静止画を 撮影する

1 カメラを構える

脇を軽く締め、右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手でレンズを支えます。





 人物などを縦位置で撮影する場合は、 カメラを縦位置に構えます。







 ・暗い場所などでは、AF補助 光が光ったり内蔵フラッシュ が上がることがあります。



ピント表示

 ・ピントが合うと、ピピッという電子音が鳴り、ファインダー内の ピント表示(●)が点灯します(被写体が動いているときは、電 子音が鳴らない場合があります)。

ファインダー内ピント表示	意味
● (点灯)	被写体にピントが合っています。
● (占減)	オートフォーカスでのピント合わせができ
	ません (皿100)。



 SDカードアクセスランプが 点灯している間は、画像を 記録しています。SDカード やバッテリーを取り出さな いでください。



SDカード アクセスランプ

 撮影した画像が液晶モニターに数秒間 表示されます。





<u>撮影した画像を再生する(1コマ表示モード)</u>

▶ボタンを押すと、撮影した画像が表示されます。





▶ボタン

マルチセレクターの◀または▶を押すと、他の画像を表示できます。



■ 複数の画像を一覧表示する(サムネイル表示モード)

- 1コマ表示モードで 8 (?)ボタンを押すと、 ボタンを押すたびに4コマ表示、9コマ表示、 72コマ表示の順に切り換えられます。
- ・
 ペボタンを押すと、表示コマ数が少なくなります。
- ▲▼◀▶を押すかコマンドダイヤルを回して画像を選び、∞ボタンを押すと1コマ表示モードで画像を表示します。



9≅(?)ボタン



■ 撮影した日付ごとに画像を表示する(カレンダー 表示モード)

- ・72コマ表示時に (※) ボタンを押すと、撮影した日付ごとに縮小画像を表示する「カレンダー表示モード」に切り替わります。
- ▲▼◀▶を押して「カレンダー表示」上のカレンダー表示
 日付を選んで、9≅(?)ボタンを押すと、
 指定した日付に撮影した画像を選べます。
- 「カレンダー表示」上の日付を選んで
 (ホタンを押すと、72コマ表示のサムネイル表示に切り替わります。



撮影日サムネイル表示

<u>不要な画像を削除する</u>

1 削除したい画像を表示する



2 面ボタンを押す





•表示中の画像が削除されます。



🖉 半押しタイマーについて

このカメラには、バッテリーの消耗を抑えるための「半押しタイ マー」という機能があります。シャッターボタンを半押しすると、 半押しタイマーがオンになります。何も操作が行われないまま約8 秒経過すると半押しタイマーがオフになり、ファインダー内表示が 消灯します。もう一度シャッターボタンを半押しすると、半押しタ



イマーがオンになり、元の状態に戻ります。半押しタイマーの作動時間は、セットアップメニュー [**パワーオフ時間**] (¹¹74)で変更できます。



✓ 内蔵フラッシュについて

撮影モード留では、シャッターボタンを半押しす ると必要に応じて自動的に内蔵フラッシュが上が ります。

- ファインダー内にく(レディーライト)が点灯しているとき:シャッターボタンを全押しすると、内蔵フラッシュが発光します。
- 内蔵フラッシュが上がっている状態でもが点灯していないとき:フラッシュが充電中のため、撮影できません。

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がす るまで手で軽く押し下げます。フラッシュを使わな いときは常に収納してください。





液晶モニターを見ながら静止画を 撮影する(ライブビュー撮影)



回ボタン

2 カメラを構える

 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手 でレンズを支えます。



 人物などを縦位置で撮影する場合は、 カメラを縦位置に構えます。







4 シャッターボタンを半押 ししたまま、さらに深く 押し込んで(全押しして) 撮影する

 撮影時は液晶モニターが消 灯します。



- SDカードアクセスランブが 点灯している間は、画像を 記録しています。SDカードやバッテリーを取り出さないでくだ さい。
- 撮影後は、撮影した画像が液晶モニターに数秒間表示されます。
- ライブビューを終了する場合は、
 ワンを押します。



🖉 おまかせシーン

モードダイヤルが留または③のときにライブビューに切り換えると、オートフォーカスに設定している状態では、「おまかせシーン」になります。

- おまかせシーンでは、カメラが撮影シーンや被写体に合わせて最適な撮影モードを決定します。
- 液晶モニターの左上に、カメラが選んだ撮影
 モードのアイコンが表示されます。



ĩ	ポートレート	人物を認識した場合
.	風景	自然の風景や街並みを認識した場合
۳.	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
<u>.</u>	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
AUTO	オート	上記のシーンを認識しなかった場合
٤	発光禁止オート	響または3に適したシーンの場合

▼ ライブビュー撮影時のご注意

- ライブビュー表示中は、液晶モニターの表示に次のような現象が発生すること がありますが、実際に記録される画像に影響はありません。
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪んで表示される
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪んで見える
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - 輝点が発生する
- ・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、ライブビュー表示中に画面にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」は、セットアップメニューの[フリッカー低減](□174)で低減できますが、設定しているシャッタースピードによっては、撮影した静止画に記録されることがあります。
- 次のような場合は、ライブビュー撮影を終了します。
 モードダイヤルをGUIDEに変更した場合
 - モードダイヤルをGUIDEから他のモードへ変更した場合
- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、ライブビューの開始を制限したり自動的に終了したりすることがあります。

- 撮影時の気温が高い場合

- ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
- 連続撮影を行った直後など

カメラが熱くなってライブビューを開始できない場合は、カメラ内部の温度が 下がるまでライブビューを一時休止してください。このとき、カメラボディー 表面が熱くなることがありますが故障ではありません。

ライブビュー表示中は、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。

☑ ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

自動的にライブビューを終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウント ダウンを表示します。

- ・セットアップメニュー[パワーオフ時間](□74)の設定により終了する場合は、終了30秒前から黒字で表示し、終了5秒前から赤字で表示します。
- カメラ内部の温度上昇により終了する場合は、終了30秒前から赤字で表示します。撮影条件によっては、ライブビュー開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。

<u>撮影した画像を再生する(1コマ表示モード)</u>

▶ボタンを押すと、撮影した画像が表示されます。





■ボタン

マルチセレクターの◀または▶を押すと、他の画像を表示できます。



<u>不要な画像を削除する</u>

1 削除したい画像を表示する



2 面ボタンを押す



3 もう一度面ボタンを押す

•表示中の画像が削除されます。



動画を撮影する

ライブビューにすると動画を撮影できます。



ロボタン

2 カメラを構える

 右手でカメラのグリップを包み込むようにしっかりと持ち、左手 でレンズを支えます。



3シャッターボタンを軽く 押して(半押しして)、 ピントを合わせる



4 動画撮影ボタンを押して、撮影を 始める

録画中は録画中マークが液晶モニ

ターに表示されます。SDカードに記録できる残り時間の日安も液晶モニ



動画撮影ボタン

録画中マーク

残り時間



て、撮影を終了する

ターで確認できます。

ライブビューを終了する場合は、
 ボタンを押します。



🖉 動画撮影について

- ●使用しているSDカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで 撮影が自動的に終了する場合があります。
- •動画撮影時は、内蔵フラッシュと別売のスピードライトは発光しません。
- 👿 (動画記録禁止) マークが表示されているときは、動画撮影できません。
- •1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。

🖉 最長記録時間

1回の撮影で記録できる動画の最長記録時間は、撮影メニュー[動画の設定]の [画像サイズ/フレームレート]と[動画の画質]の組み合わせによって異なります。

	画像サイズ/フレームレート		最長記録時間
	解像度	フレーム	([動画の画質] *3の設定:
	(ピクセル)	レート**1,2	★高画質/標準) ※4
1080 P* / 1080 P	1920×1080	60p	10公/20公
1080 P* / 1080 P	1920×1080	50p	10)]/20)]
1080 P*/ 1080 P	1920×1080	30p	
1080 P* / 1080 P	1920×1080	25p	20쑤/
1080 P* / 1080 P	1920×1080	24p	20月7
720 pt / 720 p	1280× 720	60p	200000
720 720 720 720 720 720 720 720 720 720	1280× 720	50p	
424 EU / 424 EU	640× 424	30p	29分59秒/
424 PA / 424 PA	640× 424	25р	29分59秒

※1 60p:59.94コマ/秒(fps)、50p:50コマ/秒、30p:29.97コマ/秒、 25p:25コマ/秒、24p:23.976コマ/秒

- ※2 60p/30pは、セットアップメニューの[ビデオ出力](□74)が [NTSC] の場合に選べます。50p/25pは、[ビデオ出力]が [PAL]の場合に選べます。
- ※3 [動画の画質] が高画質の場合は、アイコンに★が表示されます。

※4 峰の場合、最長記録時間は3分です。

🖉 ライブビュー残り時間のカウントダウンについて

- 自動的に動画撮影を終了する30秒前から、液晶モニターの左上にカウントダウンを表示します。
- 撮影条件によっては、動画撮影を開始後すぐにカウントダウンが始まることがあります。
- 動画記録中にカウントダウンが始まった場合は、液晶モニターの右上に表示されている動画残り記録時間にかかわらず、ライブビュー残り時間のカウントダウン時間で動画撮影を自動的に終了します。

▶ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発 生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
 - 周囲でスピードライトやフラッシュなどが発光された場合、画面の一部が明 るくなったり、明るい横帯が発生する
- •次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達した場合
 - SDカードの残量がなくなった場合
 - モードダイヤルを回した場合
- 長時間ライブビューで撮影すると、カメラ内部の温度が上昇することがあるため、ノイズ(ざらつき、むら、輝点)が発生する場合があります。撮影時以外は、ライブビューを終了してください。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために、カメラは自動的に動画撮影を終了することがあります。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - ライブビュー撮影や動画撮影を長時間行った場合
 - 連続撮影を行った直後など
 - カメラが熱くなってライブビューまたは動画撮影を開始できない場合は、カメ ラ内部の温度が下がるまでライブビューおよび動画撮影を一時休止してくださ い。このとき、カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではあり ません。
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が 破損するおそれがあります。
- マイク(□2)を指などでふさがないようにしてください。音声が記録できない場合があります。
- •次の場合は、レンズの動作音が録音されることがあります。
 - オートフォーカス作動中
 - VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)をONにした場合

撮影した動画を再生する

▶ボタンを押して、**県**マークが表示されている画像を表示します(1コ マ表示モード)。



● ●ボタンを押して動画を再生します(プログレスバーで再生中の位置の目安を確認できます)。



■動画再生時の操作方法

一時停止する		マルチセレクターの▼を押すと、一時停止し ます。
再生を再開する		ー時停止中または早送り/巻き戻し中に∞ボタ ンを押すと、動画再生を再開します。
巻き戻しする/ 早送りする		 再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、巻き戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。 ◀を押し続けると、最初のコマに移動し、▶を押し続けると、最後のコマに移動します。 先頭フレームには ● アイコンが、最終フレームには●アイコンが、画面右上に表示されます。
コマ戻しする/ コマ送りする		 一時停止中に◀または▶を押すと、コマ戻し/ コマ送りします。 ◀または▶を押し続けると連続でコマ戻し/ コマ送りします。
10秒進める/ 10秒戻す		コマンドダイヤルを回すと、10秒前または後ろ に移動します。
音量を調節する	କ୍∕ବ୍≊ (?)	��、ボタンを押すと音量が大きくなり、 �� (?) ボタンを押すと小さくなります。
再生を終了する		▲または ● ボタンを押すと、1コマ表示モード に戻ります。

<u>不要な動画を削除する</u>

1 削除したい動画を表示する

 ・
 ・
 マークが表示されている画像が動画です。









•表示中の動画が削除されます。





<u>GUIDEモードのメニュー一覧</u>

モードダイヤルをGUIDEに合わせると表示される、ガイドモードのトッ プ画面でメニューを選んで®ボタンを押します。



■ [撮る] メニュー

場面にあわせて撮る	テクニックを使って撮る
🕰 おまかせで撮る	 ・ 背景をぼかして撮る ・ 隅々までシャープに撮る
🚱 フラッシュを使わずに撮る	松り値を設定して撮影します。
🔓 遠くの被写体を撮る	 人物の動きを止めて撮る 乗物の動きを止めて撮る
🌇 花や小物をアップで撮る	S • 水の流れを撮る
子供の寝顔を撮る	シャッタースビートを設定して 撮影します。
🛂 動く被写体を撮る	 夕日を赤く撮る** ホワイトバランスを調整して撮
▶ 風景や街並みを撮る	影します。
🛃 ポートレートを撮る	 明るい雰囲気で撮る* 落ち着いた雰囲気で撮る*
🕞 夜景をバックに人物を撮る	露出を補正して撮影します。
	 ブレを防いで撮る 感度自動制御を設定して撮影し ます。

※設定した値が、[テクニックを使って撮る]の他の項目に反映されます。設定を リセットするには電源をOFFにし、もう一度ONにしてください。

撮影を始めるには

次のいずれかを選んでのボタンを押すと、撮影を開始できます。

- わまかせで撮る
 ファインダーで撮る
 ライブビューで撮る
 動画を撮る
 さらに設定する
 シ戻る (認進む)で[2.0]。
- ファインダーで撮る
- ライブビューで撮る
- 動画を撮る

さらに設定するには

[さらに設定する]を選んで▶を押すと、次の項目を設定できます*。

🎾 おまかせで撮る	 フラッシュの設定 フラッシュの設定
ファインダーで撮る ライブビューで撮る 動画を撮る	- フラッシュモート - フラッシュ調光補正 • レリーズモード • ISO感度設定
さらに設定する	- ISO感度 - ISO感度 - 感見動制御

- ピクチャーコントロール
- 露出補正
- ホワイトバランス

※1つ前の画面で設定した内容によって設定できる内容が異なります。

✓ GUIDEモードの[撮る] について 次の場合は、[おまかせで撮る]の設定になります。 ・電源をOFFにしてもう一度ONにしたとき ・モードダイヤルをGUIDEに合わせてから、何も設定しないで撮影するとき ・他のモードに切り換えてからGUIDEモードに戻ったとき

■ [見る・消す] メニュー

1	±171	ヨス
	TX.	<i>т</i> о

複数の画像を同時に見る

日付を選んで見る

スライドショーで見る

撮影した画像を消す

■■ [編集する] メニュー

トリミング	フォトイラスト
フィルター効果(クロススクリーン)	ミニチュア効果
フィルター効果(ソフト)	セレクトカラー

■[設定する] メニュー※1

画質モード	再生フォルダー設定
画像サイズ	再生画面設定
パワーオフ時間	プリント指定 (DPOF)
デート写し込み設定	時計と言語(Language)
画面表示と音の設定	地域と日時
液晶モニターの明るさ	言語 (Language)
インフォ画面の背景色	カードの初期化(フォーマット)
インフォ画面の自動表示	外部出力の設定
電子音設定	HDMI
動画の設定	ビデオ出力
画像サイズ/フレームレート	ワイヤレスモバイルアダプター
動画の画質	Eye-Fi送信機能*2
録音設定	カードなし時レリーズ
風切り音低減	
フリッカー低減	

- ※1 GUIDEモードで設定した内容は、他の撮影モードには反映されません(「フリッカー低減」、「プリント指定(DPOF)」、「時計と言語(Language)」、「カードの初期化(フォーマット)」、「外部出力の設定」、「ワイヤレスモバイルアダブター」、「Eye-Fi送信機能」、「カードなし時レリーズ」を除く)。
- ※2 [Eye-Fi送信機能]は、この機能に対応したEye-Fiカードを挿入したときのみ 表示されます。

<u>GUIDEモードでの操作方法</u>





被写体や状況に合わせて撮影 する (シーンモード)

撮影するシーンが決まっているときは、シーンに合わせて撮影モードを 選ぶだけで、美しく撮影できます。

シーンモードは、モードダイヤル を回して設定します。



モードダイヤル

え(ポートレート)

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な 感じに仕上げます。

被写体と背景が離れているときや、望遠レンズを使って撮影したときは、背景がぼけて立体感のある画像になります。

🔺 (風景)

自然の風景や街並みを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

✔ ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は光りません。

🙅 (こどもスナップ)

子供の撮影に向いています。肌の色を美しく表現すると同時に、服装や 背景も鮮やかに仕上げます。

💐 (スポーツ)

運動会などスポーツ写真の撮影に向いています。動きのある被写体の 一瞬の動きを鮮明にとらえ、躍動感のある画像に仕上げます。

✔ ご注意

内蔵フラッシュとAF補助光は光りません。

🏶 (クローズアップ)

草花や昆虫などの小さな被写体に近づき、大きく写したいときに使い ます。

 マイクロレンズを使用すると、より被写体に近づいて撮影することが できます。

🖸 (夜景ポートレート)

タ景や夜景をバックに、人物を撮影したいときに使います。人物と背景 の両方を美しく表現します。

🖉 三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

特殊効果をつけて撮影する (スペシャルエフェクトモード)

特殊な効果のついた画像を撮影できます。

- オイトビジョン
- **Ⅵ** 極彩色
- **POP** ポップ
- 😰 フォトイラスト
- 🐼 カラースケッチ
- 息 トイカメラ風
- 🕼 ミニチュア効果

モードダイヤルをEFFECTSに合わせた後、コマンドダイヤルを回して設定します。

🖋 セレクトカラー

HDRペインティング

かんたんパノラマ

ぶ シルエット

圖 ハイキー



モードダイヤル



EFFECTS

コマンドダイヤル



液晶モニター

🕜 (ナイトビジョン)

意図的に高感度で撮影して、モノトーン(白黒)で表現します。暗闇で の撮影に適しています。

✔ ご注意

- オートフォーカスはライブビュー撮影時のみ使えます。
- オートフォーカスでピントが合いにくい場合は、フォーカスモードを [MF](マニュアルフォーカス)に設定してください。
- 撮影した画像にノイズ(ざらつき、むら、すじ)が発生する場合があります。
- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。

Ⅵ(極彩色)

画像全体の色を強調し、コントラストがはっきりした写真にします。

POP (ポップ)

画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。

😰 (フォトイラスト)

輪郭を強調し、色数を減らすことでイラスト風に表現します。

ライブビュー表示にすると、
 ○ (フォトイラスト)の効果を設定できます(□55)。

✔ ご注意

- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、コマ送りのような動画として記録されます。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。
- フラッシュ撮影するには、フラッシュモードを[\$AUTO](通常発光オート)または[\$③AUTO](赤目軽減オート)に設定してください。

🔯 (カラースケッチ)

輪郭を抽出して色をつけることで、スケッチ風に表現します。

ライブビュー表示にすると、◎(カラースケッチ)の効果を設定できます(□56)。

✔ ご注意

- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、コマ送りのような動画として記録されます。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。

🔝(トイカメラ風)

色の濃さと周辺減光量を調整し、トイカメラで撮影したように表現します。

ライブビュー表示にすると、
 し、(トイカメラ風)の効果を設定できます(四57)。

(ミニチュア効果)

ミニチュア(模型)を接写したように表現します。高いところから見下 ろして撮影する場合に適しています。

ライブビュー表示にすると、()(ミニチュア効果)の効果を設定できます(ロ58)。

✔ ご注意

- 内蔵フラッシュとAF補助光ランプは光りません。
- オートフォーカス中は効果が一時解除されます。
- 動画撮影の場合は、早送り動画として記録されます。
- 動画撮影に音声は記録されません。
- 動画撮影中はオートフォーカスは作動しません。
🖋 (セレクトカラー)

選んだ色のみを残し、それ以外の色をモノトーン(白黒)で表現します。

ライブビュー表示にすると、
 ダ(セレクトカラー)の効果を設定できます(□060)。

✔ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

ぶ(シルエット)

背景が明るいシーンで、被写体を意図的にシルエットで表現します。

✔ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

🖩 (ハイキー)

全体的に明るめの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に明 るいトーンで表現します。光に満ちた華やいだ雰囲気になります。

✔ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

▶ (ローキー)

全体的に暗めの被写体の撮影に適しています。画像全体を意図的に暗い トーンで表現します。深く落ち着き、ハイライト部分が引き立った雰囲 気になります。

✔ ご注意

内蔵フラッシュは光りません。

🚊 (HDRペインティング)

絵画のように色彩やディティールが強調された仕上がりになります。

1回の撮影で露出が異なる画像を連続2コマ撮影して合成します。

✔ ご注意

- 合成処理中は、液晶モニターにメッセージが表示され、表示が消えるまで次の撮影はできません。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が大きい場合は、正しく 合成されないことがあります。
- 効果はライブビュー表示時には確認できません。動画撮影時には、撮影モード
 ②として動作します。
- 内蔵フラッシュは光りません。
- レリーズモードを [9](連続撮影)に設定していても、連続撮影はできません。

(かんたんパノラマ)

パノラマ写真を撮影できます(凹62)。

 ライブビューに切り換えてから撮影してください。ファインダー撮影 はできません。

✔ ご注意

- 動画撮影はできません。
- 内蔵フラッシュは光りません。

🖉 三脚の使用について

暗いときや手ブレが気になるときは、三脚の使用をおすすめします。

🖉 スペシャルエフェクトモードについて

- ・撮影モード囚、VI、PD、Q→、Q→、Q→、Q→、Q→または口の場合にRAWを含む 画質モードで撮影すると、画質モードFINEのJPEG画像が記録されます。
- ・撮影モードが
 び、
 びまたは
 ゆのときにレリーズモードを
 「□」
 (連続撮影)に
 設定した場合、連続撮影速度が遅くなります。
- ●撮影モードがな、◎またはぬのときは、ライブビュー時の表示の更新は遅くなります。

💵 🔛(フォトイラスト)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードでひを選んだ後、効果を設定します。

1 回ボタンを押す ・液晶モニターに被写体が表示されます。

ロボタン





- ライブビューを終了する場合は、□ボタンを押します。ライブ ビューを終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効 果は、ファインダー撮影でも適用されます。

■ 🕲(カラースケッチ)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードででを選んだ後、効果を設定します。

1 回ボタンを押す

液晶モニターに被写体が表示されます。







3 色の濃さと線の濃さを設 定する

- マルチセレクターの▲また は▼を押して、設定したい 項目を選びます。
- [色の濃さ]: ▶を押すと色 が濃くなり、
 なります。



 ・[線の濃さ]:
 を押すと線が濃くなり、
 ◆を押すと薄くなります。
 「線の濃さ]
 を濃くすると、
 画像全体の色も濃くなります。

- 🞯 ボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。
- ●ライブビューを終了する場合は、
 ●ボタンを押します。ライブ ビューを終了しても、設定した効果は維持されます。
 設定した効
 果は、ファインダー撮影でも適用されます。

■ 息(トイカメラ風)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで思を選んだ後、効果を設定します。

1 回ボタンを押す

•液晶モニターに被写体が表示されます。



2 ® ボタンを押す

 トイカメラ風の設定画面が 表示されます。



3 色の濃さと周辺減光を設 定する

- マルチセレクターの▲また は▼を押して、設定したい 項目を選びます。
- [色の濃さ]: ▶を押すと色 が濃くなり、
 なります。



• [周辺減光]:▶を押すと減光効果が強くなり、◀を押すと減光効 果が弱くなります。

- 感ボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。
- ●ライブビューを終了する場合は、
 ●ボタンを押します。ライブ ビューを終了しても、設定した効果は維持されます。
 設定した効
 果は、ファインダー撮影でも適用されます。

■ 緯(ミニチュア効果)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードで確を選んだ後、効果を設定します。

1 回ボタンを押す

液晶モニターに被写体が表示されます。



2 フォーカスポイントを 被写体に重ねる

マルチセレクターの
 ▲▼◀▶ ボタンを押して、
 ぼかさないではっきりと見
 せたい部分にフォーカスポ
 イントを移動します。



- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
- ♥ボタンを押すと、被写体が拡大表示され、ピントを細部まで確認できます。♥№ (?)ボタンを押すと画像を縮小表示します。
- 拡大表示中は効果が一時解除されます。





- ▲または▼を押すと、効果 をかける幅を設定できます。



5 決定する

- ●ボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。
- ●ライブビューを終了する場合は、□ボタンを押します。ライブ ビューを終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効 果は、ファインダー撮影でも適用されます。

■ 🖋(セレクトカラー)の効果の設定方法

スペシャルエフェクトモードでダを選んだ後、効果を設定します。

1 回ボタンを押す

•液晶モニターに被写体が表示されます。





3残したい色を抽出する

- カメラを動かして画面中央の枠を残したい色の被写体に重ねます。
- ● ペボタンを押すと、被写体が拡大表示され、残したい を細部まで確認できます。

 ♀■ (?)ボタンを押すと画像を縮小表示します。



- マルチセレクターの▲を押すと、画面中央の枠に重ねた被写体の 色が抽出され、色の枠に表示されます。
- 抽出した色以外の色は、モノトーン(白黒)で表示されます。



5 抽出する色を追加する

 コマンドダイヤルを回して 別の色の枠を選び、手順3
 ~4と同じ手順で色を抽出し、色の感度を設定します。





- ・抽出した全ての色を削除したい場合は、

 ●ボタンを押し続けます。
 確認画面で[はい]を選んで
 ●ボタンを押すと、全ての色をリセットします。

6 決定する

- ・ GRボタンを押して決定すると、設定した効果で撮影できます。
- ●ライブビューを終了する場合は、□ボタンを押します。ライブ ビューを終了しても、設定した効果は維持されます。設定した効 果は、ファインダー撮影でも適用されます。

▶ セレクトカラー設定時のご注意

- 残したい色の彩度によっては、抽出しにくい場合があります。彩度の高い色の 抽出をおすすめします。
- ●色の感度を高く設定しすぎると、選択した色に近い色相の色も抽出されます。

スペシャルエフェクトモードで**口**を選んだ後、次の方法でパノラマ画 像を撮影します。

1 回ボタンを押す

- •液晶モニターに被写体が表示されます。
- •構図用の格子のガイドが表示されます。



 一番端の被写体に構図を 合わせ、シャッターボタ ンを半押ししてピントを 合わせる



3 シャッターボタンを全押 ししてから指を放す

●画面が一度暗くなります。
 その後、液晶モニターが点灯して、カメラを動かす方向を示す△▽√↓マークが表示されます。



4 カメラを4方向のいずれかに、まっ すぐゆっくりと動かし、撮影を開始 する

- カメラが動いている方向を検出すると、 撮影が始まります。
- 現在の撮影地点を示すガイドが表示されます。



• 撮影地点を示すガイドが端まで到達すると撮影が終了します。

カメラの動かし方の例



•撮影者は動かずに、カメラを水平方向、または垂直方向に円弧を描くように動かします。

▶ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 撮影メニューの (画像サイズ) (ロ73) では、[パノラマ標準] と [パノラマワ イド] の2種類の画像サイズから選べます。[パノラマ標準] のときは約15秒以 内、[パノラマワイド] のときは約30秒以内を目安に、範囲の端から端まで動 かしてください。
- カメラを動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいときなどはエラーメッセージが表示されます。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了した ときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。
- 意図的に画像の明るさを変えたいときは、手順1でライブビューを開始してから図(20)ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、1/3段ステップで±3段の範囲で露出補正ができます(2070)。かんたんパノラマ撮影を開始するとピントと露出は固定されます。
- パノラマ画像は複数の画像から合成して作成しているため、次のような被写体の場合は、つなぎ目が目立つなど望ましい結果が得られないことがあります。
 単調な色や模様が続く被写体(空や海など)
 - 動いている被写体
 - 暗い場所
 - 短時間で色や明るさが変化する被写体(蛍光灯やディスプレイなど)
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる場合
- •セットアップメニューの [デート写し込み設定](ロ74)は使用できません。

<u>パノラマ画像を再生する</u>

パノラマ画像を選び、
・
パノラマ画像を選び、
・
・
パノラマ画像は 画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を撮影したときと同じ方 向に自動で移動(スクロール)します(ナビゲーションウィンドウで再 生中の位置の目安を確認できます)。



■ パノラマ再生時の操作方法

一時停止する	マルチセレクターの▼を押すと、一時停止し ます。
再生を再開する	ー時停止中または早送り/巻き戻し中に ∞ ボタ ンを押すと、パノラマ再生を再開します。
巻き戻しする/ 早送りする	再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送 りします。
コマ戻しする/ コマ送りする	 一時停止中に ◀または ▶ を押すと、コマ戻し/ コマ送りします。 ◀または ▶ を押し続けると連続でコマ戻し/ コマ送りします。
再生を終了する	▲または ● ボタンを押すと、1コマ表示モード に戻ります。

P、S、A、Mモードで撮影する

モードダイヤルを回して撮影モード**P、S、A、M**を選 ぶと、撮影の意図に応じて、シャッタースピードと 絞り値のそれぞれを自分で設定したり、カメラまか せにしたりすることができます。



P	プログラムオート (皿 67)	シャッターチャンスを逃したくないスナップ撮影 などに使います。シャッタースピードと絞り値の 両方をカメラが自動制御します。
S	シャッター優先オート (□□ 67)	被写体の動きを強調して撮影したいときなどに使 います。シャッタースピードを自分で設定し、絞 り値はカメラが自動制御します。
A	絞り優先オート (囗 67)	背景のぼかし方を調節して撮影したいときなどに 使います。絞り値を自分で設定し、シャッタース ピードはカメラが自動制御します。
М	マニュアル (皿68)	シャッタースピードと絞り値の両方を自分で設定 します。長時間露出 (バルブ、タイム)撮影も、こ のモードで行います。

✓ 内蔵フラッシュを使った撮影について

★(22)ボタンを押して内蔵フラッシュを上げて、フラッシュ撮影することもできます。

<u> P:プログラムオート</u>

シャッターチャンスを逃したくないスナップなど幅広い撮影に適して います。被写体の明るさに応じて、露出が適正になるようにカメラが シャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。

S:シャッター優先オート

動きを写し止めて撮影したいときや、被写体の動きを強調する撮影に適 しています。シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になる ようにカメラが自動的に絞り値を決定します。

 コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に 回すとシャッタースピードが遅くなります。



コマンドダイヤル



<u>A:絞り優先オート</u>

背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせたい場合や、近くから 遠くまでピントの合った写真を撮影したい場合に適しています。 絞り値 を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッ タースピードを決定します。

コマンドダイヤルを左に回すと絞りが開き(絞り値が小さくなり)、右に回すと絞りが絞り込まれ(絞り値が大きくなり)ます。



M:マニュアル

露出インジケーター(印69)を確認しながら、シャッタースピードと 絞り値の両方を自分で設定します。

シャッタースピードの設定:コマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。



 ・絞り値の設定:図(20)ボタンを押しながらコマンドダイヤルを左に 回すと絞りが開き(絞り値が小さくなり)、右に回すと絞りが絞り込 まれ(絞り値が大きくなり)ます。





<u>画像の明るさを調整する(露出補正)</u>

露出補正とは、カメラが制御する適正露出値を意図的に変えることで す。画像全体を明るくしたり、暗くしたいときなどに使います(撮影 モード**P、S、A、四、口**のみ)。



-1段補正



露出補正なし



+1段補正

露出補正値を変える

 ・図(
 の) ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回すと、ファイン ダー内とインフォ画面の露出補正値が変わります。





-0.3段補正

+2段補正

被写体を明るくしたいときは+側に、暗くしたいときは-側に補正します。

🖉 露出補正の設定について

露出補正は、インフォ画面でも設定できます (□10)。



露出補正を解除するには、補正値を0.0にしてください。カメラの電源をOFFにしても、補正値の設定は解除されません。

メニューを使う

再生や撮影、カメラの基本的な設定をすると きは、主にメニュー画面を使います。 MENUボタンを押すと、液晶モニターに次のよ うなメニュー画面(例:セットアップメ ニュー)を表示します。



MENUボタン

ーメニュー切り換えタブ –

次の各メニューのアイコンのタブを選ぶと、選んだメニュー画面が表示され ます。

►	再生メニュー
Ó	撮影メニュー
Ŷ	セットアップメニュー
	画像編集メニュー
1	最近設定した項目



ヘルプあり表示(□276)

メニュー項目の一覧

■ ト 再生メニュー:再生で使える便利な機能

削	除
10.7	PUL

再生フォルダー設定

再生画面設定

撮影直後の画像確認

縦位置自動回転

スライドショー

プリント指定(DPOF)

レーティング

スマートデバイスへの送信指定

■ 🗅 撮影メニュー:撮影で使える便利な機能

撮影メニューのリセット	ノイズ低減
画質モード	ISO感度設定
画像サイズ	AFエリアモード
ホワイトバランス	内蔵AF補助光の照射設定
ピクチャーコントロール	測光モード
自動ゆがみ補正	内蔵フラッシュ発光
色空間	光学手ブレ補正※
アクティブD-ライティング	動画の設定

※このメニューに対応したレンズを装着したときのみ表示されます。

■ Y セットアップメニュー:カメラを使いやすく する基本設定

セットアップメニューのリセット	リモコン待機時間(ML-L3)
カードの初期化(フォーマット)	電子音設定
液晶モニターの明るさ	フォーカスエイドインジケーター
インフォ画面デザイン	連番モード
インフォ画面の自動表示	ボタン動作のオプション
イメージセンサークリーニング	カードなし時レリーズ
クリーニングミラーアップ	デート写し込み設定
イメージダストオフデータ取得	記録フォルダー設定
フリッカー低減	アクセサリーターミナル
地域と日時	ビデオ出力
言語 (Language)	HDMI
縦横位置情報の記録	ワイヤレスモバイルアダプター
画像コメント	Eye-Fi送信機能※
パワーオフ時間	ファームウェアバージョン
ヤルフタイマー	

※この機能に対応したEye-Fiカードを挿入したときのみ表示されます。

■ 🚽 画像編集メニュー:撮影した画像に行う編集機能

D-ライティング	ゆがみ補正
赤目補正	魚眼効果
トリミング	塗り絵
モノトーン	フォトイラスト
フィルター効果	カラースケッチ
カラーカスタマイズ	アオリ効果
画像合成	ミニチュア効果
RAW現像	セレクトカラー
リサイズ	動画編集
簡単レタッチ	編集前後の画像表示※
傾き補正	

※編集前または編集後の画像を1コマ表示してiボタンを押して、[画像編集]を選 んだときのみ表示されます。

■ 🗐 最近設定した項目

最後に設定したメニュー項目から順番に最新の20項目が自動的に表示されます。

■ メニュー項目の設定方法

メニューの操作には、マルチセレクターと®ボタンを使います。





• MENUボタンを押します。



🖉 😧(ヘルプあり表示)

ヘルプがある場合に**Q≅(?)**ボタンを押すと、その項目のヘルプ(説明)を表示します。

- 説明が2ページ以上ある場合は、Q☎(?)ボタンを押しながらマルチセレクターの▼を押して、次のページを表示してください。
- <

 <





3 メニューを切り換える

・▲または▼を押して、メニューのタブを切り換えます。



4 選んだメニューに入る

●を押して、選んだメニューに入ります。



	再生メニュー	
	削除	茴
8	再生フォルダー設定	D3300
<u> </u>	再生画面設定	
	撮影直後の画像確認	ON
	縦位置自動回転	ON
	スライドショー	
	プリント指定(DPOF)	£
?	レーティング	*

5 メニュー項目を選ぶ

 ▲または▼で項目を選び ます。



	再生メニュー	
	削除	茴
9	再生フォルダー設定	D3300
<u> </u>	再生画面設定	
	撮影直後の画像確認	ON
	縦位置自動回転	ON
	スライドショー	
	ブリント指定(DPOF)	£
?	レーティング	×



- ・ ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・</<
- メニュー操作をキャンセル(中止)するには、MENUボタンを押してください。



- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- 「ボタンの代わりに●を押しても決定できますが、画像の削除やSD カードの初期化などの重要な設定項目については、● ボタンしか使え ないことがあります。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し(□24) してください。

ViewNX 2

ViewNX 2をインストールする

付属のソフトウェアをインストールして、画像をパソコンに取り込め ば、静止画や動画の表示、編集ができます。インストールを始める前 に、お使いのパソコンの環境が口81の動作環境に合っているか確認し てください。

1 パソコンを起動し、ViewNX 2 CD-ROMをCD-ROMドラ イブに入れ、インストーラーを起動する

•次の画面で言語を選びます。



2 インストールを開始する

• 画面の指示に従ってインストールしてください。





4 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

▶ 必ず最新バージョンのソフトウェアをお使いください

- お使いのカメラに対応していないバージョンのソフトウェアを使用すると、
 RAW 画像をカメラからパソコンへ正常に転送できないことがあります。必ず
 最新バージョンのViewNX 2をお使いください。
- 最新版のViewNX 2は、当社ホームページ(ロxv)からダウンロードしてインストールすることもできます。

 Zコンホームページへのアクセスについて(Windowsのみ)
 ViewNX 2をインストールした後、Windowsの[スタート]メニューから[すべ
 てのプログラム] → [Link to Nikon]の順にクリックすると、当社のホーム
 ページにアクセスできます(インターネットに接続できる環境が必要です)。

ViewNX 2の動作環境について						
	Windows	Мас				
プロセッサー (CPU)	 静止画: Intel Celeron/ Pentium 4/Coreシリーズ 1.6GHz以上 動画: 再生時:Pentium D 3.0GHz 以上 編集時: Intel Core i5以上 1280×720ピクセル以上でブ レームレート30fps以上、または1920×1080ピクセル以 上で動画再生をする場合: Intel Core i5以上を推奨 	 静止画: Intel Coreシリーズ/ Xeonシリーズ 動画: 再生時: Core Duo 2GHz 以上 編集時: Intel Core i5以上 1280×720ピクセル以上でフ レームレート30fps以上、または1920×1080ピクセル以 上で動画再生をする場合: Intel Core i5以上を推奨 				
OS	Windows 8.1、Windows 7、 Windows Vista、Windows XP • 全てブリインストールされて いるモデルに対応 • 64ビット版Windows XP上 では動作しません。	OS X 10.9、10.8、10.7				
実装メモリー (RAM)	 32 ビット版 Windows 8.1、 Windows 7、Windows Vista : 1 GB 以上 (2 GB 以上推奨) 64 ビット版 Windows 8.1、 Windows 7、Windows Vista : 2 GB 以上 (4 GB 以上推奨) Windows XP: 512 MB以上 (2 GB以上推奨) 	2 GB 以上(4 GB 以上推奨)				
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が1	GB以上(3GB以上推奨)				
モニター	解像度:1024×768ビクセル (XGA) 以上(1280×1024ピ クセル以上推奨)、表示色数: 24ビットカラー以上	解像度:1024×768ビクセル (XGA) 以上(1280×1024ピ クセル以上推奨)、表示色数: 1670万色以上				
※ 対応 USIC関 ご確認くださ	39る最新情報は、当社ホームべ さい。	ーンのサホート情報(山XV)で				

ViewNX 2を使う

パソコンに画像を取り込む

1 パソコンに接続する

 SDカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケー ブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする。



2 ViewNX 2のNikon Transfer 2が起動する

起動するプログラム(ソフトウェア)を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。



3 画像をパソコンに取り込む

• [転送開始] をクリックすると、記録されている画像がパソコン に取り込まれます(ViewNX 2の初期設定)。



4 接続を解除する

・カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。



画像を見る

画像の取り込みが終わると、ViewNX 2が自動的に起動し、取り込んだ 画像が表示されます。

3 C



■ 静止画を編集する

ViewNX 2のツールバーで [エディット] をク リックします。

階調の補正、シャープネスの調整、画像の切 り抜き(クロップ)などの編集ができます。

■ 動画を編集する

ViewNX 2のツールバーで「Movie Editor] をクリックします。

このカメラで撮影した動画の不要な部分を削 除するなどの編集ができます。

■ 画像をプリントする

ViewNX 2のツールバーで「印刷」をクリック します。

ダイアログが表示され、パソコンにつないだ プリンターから、画像をプリントできます。











このカメラで使えるアクセサリーやカメラの主な仕様など、カメラを使 うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしい ときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明し ています。

使用できるレンズ

このカメラでオートフォーカスでピントを合わせるには、AF-S、AF-P、 AF-Iのいずれかのレンズが必要です。AF-S、AF-P、AF-I は、レンズ名 の次の部分に明示されています。

AF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II

このカメラで使用できるCPUレンズとレンズの仕様によるファイン ダー撮影時の制限は次の通りです。

₹ – ۴	モード フォーカスモード		撮影モード		測光モード			
	AF (オート	フォーカス	MF (マニュアル	М	M	マルチパ 測光	ターン t	中央部重点 測光/
レンズ	フォーカス)		フォーカス)		PA/ r	3D-RGB	RGB	スポット測光
AF-Sレンズ、 AF-Pレンズ、 AF-Iレンズ	0	0	0	0	0	0	×	⊖*1
Gタイプレン ズ、Dタイプの AFレンズ	×	0	0	0	0	0	×	⊖*1
PC-E NIKKORシ リーズ※2、3	×	○*4	0	0	0	0	×	⊖*1
PCマイクロ 85mm F2.8D*5	×	○*4	0	0	×	0	×	⊖*1
AF-S/AF-Iテレ コンバーター	⊖*6	○*6	0	0	0	0	×	O*1

₹ – ۴	フ	撮影モード		測光モード				
	AF (オート	フォーカス	MF (マニュアル	М	M	マルチパ 測労	ターン t	中央部重点 測光/
レンズ	フォーカス)	111	フォーカス)		101	3D-RGB	RGB	スポット測光
Gタイプ、Dタ イプ以外のAF レンズ(F3AF 用を除く)	×	⊖*7	0	0	0	×	0	⊖*1
AI-Pニッコール	×	○*8	0	0	0	×	0	○*1

※1 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能。

※2 PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D EDの装着時にアオリ操作をすると、レンズとカメラボディーが接触してキズが付いたり、ケガをする可能性があります。充分 ご注意の上、お使いください。

- ※3 アオリ操作をしているときは適正露出になりません。
- ※4 アオリ操作をしていない場合のみ可能。

※5 アオリ操作をしているとき、または開放絞り以外のときは適正露出になりません。
※6 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。

※7 AF80-200mm f/2.8S、AF35-70mm f/2.8S、AF28-85mm f/3.5-4.5S (New)、 AF28-85mm f/3.5-4.5S レンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影 した場合、ファインダースクリーンのマット面の像とフォーカスエイドのピン ト表示が合致しない場合があります。このような場合は、ファインダースク リーンのマット面を利用してピントを合わせて撮影してください。

※8 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。

高感度で動画撮影を行う場合、オートフォーカスの作動中にノイズ(すじ)が発生することがあります。この場合は、マニュアルフォーカスまたはフォーカスロックを利用して撮影してください。

▶ 使用できるレンズについてのご注意

AF-S、AF-P、AF-I以外のオートフォーカス(AF)レンズを装着しても、このカメ ラではオートフォーカス撮影できません。また、IXニッコールレンズは装着でき ません。

使用できるアクセサリー

このカメラには撮影領域を拡げるさまざまなアクセサリーが用意され ています。詳しくは最新のカタログや当社のホームページなどでご確認 ください。

電源	• Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a (印11)
	ニコンデジタルカメラD3300用のバッテリーです。
	- EN-EL14aの代わりにEN-EL14も使えます。
	• バッテリーチャージャー MH-24 ^{※1} (ロ11)
	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14aおよびEN-EL14
	用のチャージャーです。
	• パワーコネクター EP-5A、ACアダプター EH-5b ^{※2}
	ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに
	安定して電源を供給できます。
	- このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するため
	にパワーコネクター EP-5Aが必要です。
	- EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。
	※1 家庭用電源のAC 100~240 V、50/60 Hzに対応しています。
	日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを
	装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらか
	じめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。
	※2 日本国内専用電源コード(AC 100V対応)付属。日本国外で
	お使いになるには、別売の電源コードが必要です。

🖉 使用できるアクセサリーについて

- •国または地域によって、販売していない場合があります。
- •アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

フィルター	 フィルターをレンズ保護のために常用する場合は、NCフィル
	ターをお使いください。
	• カメラ測光系の特性上、従来の偏光フィルター(Polar)は使
	用できません。円偏光フィルター(C-PL、C-PL II)をお使い
	ください。
	• 逆光撮影や、輝度の高い光源を画面に入れて撮影する場合は、
	フィルターによって画像上にゴーストが発生するおそれがあ
	ります。このような場合は、フィルターを外して撮影するこ
	とをおすすめします。
	 露出倍数のかかるフィルター(Y44、Y48、Y52、O56、R60、
	X0、X1、C-PI(円偏光フィルター)、ND2S、ND4S、ND4、
	ND85、ND8、ND400、A2、A12、B2、B8、B12)を使用す
	る場合、[測光モード]を [回](中央部重点測光)にして撮
	影することをおすすめします。[図] (マルチパターン測光) で
	は、充分な効果が得られない場合があります。詳しくは、フィ
	ルターの使用説明書をご覧ください。
	● 特殊フィルターなどを使用する場合は、オートフォーカスや
	フォーカスエイドが行えないことがありますのでご注意くだ
	さい。
	• USBケーブル UC-E17、UC-E6(ロ82)
	USBケーブルUC-E17は、単体では販売しておりません。
USB/	UC-E6をお買い求めください。
オーディオ	• オーディオビデオケーブル EG-CP14
ビデオ出力端子	• ワイヤレスモバイルアダプター WU-1a
	Wireless Mobile Utilityをインストールしたスマートデバイ
	スと双方向無線通信ができます。
	• ボディーキャップ BF-1B、BF-1A
ボディー	レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、
キャップ	ミラーや撮像素子、ファインダースクリーンなどへのゴミやほ
	こりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。
アクセサリー シューカバー	• アクセサリーシューカバー BS-1
	スピードライトを取り付けるアクセサリーシューを保護する
	ためのカバーです。
	Capture NX 2
---------	---
	■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	本ワイトバランス 調整やカラーコントロールポイントなどさ
	= ボットーバック パーティング コントロ ルボーント ふここ
ニコンデジタル	。いつトウェアは、必ず早新版にバージョンアップレスお店い
ニコンテンタル	● ノノトワエアは、必要取利服にハーションアップしての使い ノビナい、お使いのパンコンがノンターネットに接続されて
リメフ専用	ください。の使いのパンコンかインターネットに技続されて
ソフトウェア	しれは、ソフトワエアの起動時にニコフメッセーシセフター2
	(Nikon Message Center 2) か自動的に更新情報をナエック
	します。
	● 対応 OS については、当社ホームページのサポート情報(□ xv)
	でご確認ください。
	• アイピースキャップ DK-5
	カメラの接眼部に取り付けると、適正露出や画像に影響を与
	える接眼部からの逆入射光を防ぎます。
	 接眼補助レンズDK-20C
	遠視、近視の方のための補助レンズで、接眼部に差し込むだ
	けで簡単に取り換えることができます。-5、-4、-3、
	-2、0、+0.5、+1、+2、+3m-1の9種類が用意されてい
	ますが「いずわもこのカメラの視度調節ダイヤルが基準位置
	(-1m-1)の堤合の値です。相度補正は個人差が大きいので
	「白頭で天际に取り付けての送りてたとい。このカメラには快 ・ 「市理筋機能が付いています (-17-+05m=1)ので、この
ファインダー用	反詞即候能が付いていより(-1./~+0.311)のて、この
アクセサリー	1 11111111111111111111111111111111111
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	ません。
	• マグニファイヤー DG-2
	ファインダー中央部の像を拡大します。より厳密なピント合
	わせが必要なときに使用します。
	• アイピースアダプター DK-22
	上記DG-2を取り付けるためのアダプターです。
	• 角窓用変倍アングルファインダー DR-6
	カメラの接眼部に取り付けると、撮影レンズと直角の方向(水
	平方向に向けたカメラの真上など)からファインダー内の画
	像を確認できます。

	アクセサリーターミナルに次のアクセサリーを接続することが
	できます。
	• ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10(ロ90)
	• ワイヤレスリモートコントローラー WR-1 (ロ90)
	• リモートコード MC-DC2
	・GPSユニットGP-1/GP-1A
アクセサリー	図のようにアクセサリーターミ 💭
5 5 1	ナルの⊳マークとコネクターの
ターミナル	⊲ マークを合わせて、コネク // [™] ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
	ターをアクセサリーターミナル
	に接続します。 〇门
	使用しないときは、必ず端子カバーを閉じてください。ゴミ
	等が入ると、誤作動の原因となることがあります。
	• リモコンML-L3 (ロ6)
	リモコン用電池(CR2025 型 3V リチウム電池)の交換方法
リモコン/	電池室のノブを右側に押しながら(①)、隙間に爪などを差し
ワイヤレス	込んで手前に引き出して(②)ください。リチウム電池を入
	れる際は、「+」と「-」の向きをよくご確認ください(④)。
	• ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10/WR-T10
<u> </u>	ワイヤレスリモートコントローラー WR-R10をカメラのアク
	セサリーターミナルに装着すると、ワイヤレスリモートコント
	ローラー WR-T10からの操作で無線での遠隔撮影を行えます。
	• ワイヤレスリモートコントローラー WR-1
	WR-1 は2 台以上を組み合わせて送信機と受信機として使い
	ます。受信機に設定したWR-1をカメラのアクセサリーターミ
	ナルに取り付けると、送信機に設定したWR-1からの操作で、
	無線での遠隔撮影を行えます。
外部マイク	• ステレオマイクロホンME-1

<u>推奨SDカード</u>

次のSDカードの動作を確認しています。

		SDメモリー カード	SDHCメモリー カード※2	SDXCメモリー カード**3
s	anDisk製	2 GB*1	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	64 GB
亰	更芝製	2 GB*1	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	64 GB
P	anasonic製	2 GB*1	4 GB、6 GB、8 GB、 12 GB、16 GB、 24 GB、32 GB	48 GB、64 GB
L	EXAR MEDIA社製	2 GB*1	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	—
	プラチナⅡシリーズ	2 GB*1	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	64 GB
	プロフェッショナル シリーズ	2 GB** ¹	4 GB、8 GB、 16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
	フル HD ビデオ カードシリーズ		4 GB、8 GB、 16 GB	_

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応し ている必要があります。

- ※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの 機器がSDHC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格 に対応しています。
- ※3 SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなど をお使いの場合、お使いの機器が SDXC 規格に対応 している必要があります。このカメラは、UHS-I規 格に対応しています。
- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、SDカードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製のSDカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。 カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- ・温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

<u>クリーニングについて</u>

カメラ本体	ほこりや糸くすをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭 きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせ た布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意:カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障 の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となります のでご注意ください。
レンズ・ ミラー・ ファインダー	ガラスは傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払い ます。スプレー缶タイプのブロアーは、缶を傾けずにお使いく ださい(中の液体が気化されずに吹き出し、レンズ・ミラー・ ファインダーを傷つけることがあります)。指紋や油脂などの汚 れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、ガラスを 傷つけないように注意して拭きます。
液晶モニター	ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れ は、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭 くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意くだ さい。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

✓ 定期点検、オーバーホールのおすすめ カメラは精密機械ですので、1~2年に1度は定期点検を、3~5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします(有料)。 ・特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。

 より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズやスピードライトなども 併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの取り扱い上の ご注意

カメラの取り扱い上のご注意

● 強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃 や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

●水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりする と部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になるこ とがあります。

●急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故 障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度にな じませてからお使いください。

● 強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録 データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないこと があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでくだ さい。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。ま た、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

● カメラ本体のお手入れについて

カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾 いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たら した柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾 かしてください。

● ミラーやレンズの手入れ方法について

ミラーやレンズは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロ アーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場 合、スプレー缶を傾けずにお使いください(中の液体が気化されずに吹き出し、ミ ラーやレンズを傷つける場合があります)。レンズに万一指紋などが付いてしまっ た場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き 取ってください。

● 撮像素子前面の手入れ方法について

撮像素子前面のクリーニングの方法については活用ガイドをご覧ください。

●シャッター幕に触れない

シャッター幕は非常に薄いため、押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹く などは、絶対にしないでください。傷や変形、破損などの原因となります。

●風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管して ください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車 内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因に なります。

●長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管 する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護する ために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいてください。保管する際は、 カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくとより安全です。ただ し、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてくださ い。バッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤(シリ カゲル)は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラ を長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるの で、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFF にする

カメラの電源がONの状態で、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外 すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行 わないでください。

● 液晶モニターについて

- モニター画面は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効 ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、 常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一部存在することが ありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。 あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブロアーで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付着したり、ロに入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパ ターンのある画像(建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など)や、規 則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体(カーテンレースの網目や衣類など)を撮 影したときに発生することがあります。

モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズ をご使用の場合はズーミングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて 撮影する、などの方法をおすすめします。

<u>バッテリーの取り扱いについて</u>

●使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
 - バッテリーはカメラの電源をOFFにしてから入れる。
 - バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので 注意する。
 - バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
 - 必ず指定のバッテリーを使う。
 - バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
 - カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。
- カメラの使用直後など、バッテリーの温度が高くなっている場合は、温度が下が るのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充 電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性 能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態で涼しいところ で保管してください。周囲の温度が15℃~25℃くらいの乾燥したところをおす すめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 使用後のバッテリーは半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する 場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼し いところで保管してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル 充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域に よってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意 する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意し て暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使え なかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。

●バッテリーの残量について

- 電池残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFF を繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。電池残量が なくなったバッテリーは、充電してお使いください。
- 充分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリー EN-EL14aをお求めください。

● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るため に、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお 持ちください。



警告メッセージ

液晶モニターとファインダーに表示される警告メッセージの意味は次 の通りです。

✓ 警告表示について

液晶モニターに②、またはファインダー内に図が点滅している場合に 🕿 (?) ボ タンを押すと、警告の内容を確認することができます。

こんなとき		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法
レンズの絞り		
リングを最小絞り	FE E	レンズの絞りリングを最小絞り(最も大きい
(一番大きい数字)	(点滅)	値)にしてください。
にしてください。		
レンズ未装着	F/? (点滅)	 レンズを装着してください。 非CPUレンズを装着しているときは、撮影 モードMで撮影してください。
撮影するにはズー	E	レンズが収納されています。ズームリングボ
ムリンプを繰り出し	(占滅)	タンを押しながらズームリングを回して、
てください。	(//////////////////////////////////////	ロックを解除してください。
撮影できません。 バッテリーを交換 してください。	←■/? (点滅)	残量のあるバッテリーに交換してください。
このバッテリーは	-	
使用できるとれ。 車田バッテリーに	(点滅)	専用バッテリーに交換してください。
交換してください。	()11(100)	
起動エラーが発生		
しました。復旧に		 電源を一度OFFにしてから、バッテリーを入
は電源スイッチを	(点滅)	れ直し、もう一度電源をONにしてください。
OFFにして 再度ON		
にしてください。		

こんなとき		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法
バッテリーが残り少 なくなりました。 ただちに作業を終了 し、電源スイッチを OFFにしてください。		クリーニングを中止し、電源をOFFにしてくだ さい。
日時未設定		日時を設定してください。
メモリーカード 未挿入	[- E -]/ ? (点滅)	SDカードを正しく入れてください。
メモリーカードが 書き込み禁止に なっています。	〔 d (点滅)	SDカードのロックを解除してください。
このメモリー カードは壊れている 可能性があるため、 使用できません。 カードを交換してく ださい。	〔 d/[Eァァ 〕 (点滅)	 このカメラで使用できる SD カードである かどうかを確認してください。 SDカードを初期化し直してください。状況 が改善しない場合は、SDカードが壊れてい る可能性があります。ニコンサービス機関 にご相談ください。 新規フォルダー作成時にこのメッセージが 表示された場合は、不要な画像を削除して ください。 新しいSDカードに交換してください。
このメモリー カードは初期化 (フォーマット) されていません。 フォーマットして ください。	(For) (点滅)	 SDカードをカメラで初期化してください。 電源をOFFにしてから、正しく初期化されたSDカードに交換してください。
メモリーカード 空き容量不足	Fut/0/19 (点滅)	 SDカードに記録されている画像を削除して、 SDカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 新しいSDカードに交換してください。

こんなとき		
液晶モニター	ファインダー 内表示	対処方法
_	● (点滅)	構図を変えるか、マニュアル(手動)でピン トを合わせてください。
被写体が 明るすぎます	记 (点滅)	 ISO感度を低くしてください。 シャッタースピードをより高速側にセットしてください。 絞りを絞り込んで(より大きい数値にして)ください。 市販のND(光量調節用)フィルターをお使いください。 図の場合は、撮影モードを切り換えてください。
被写体が 暗すざます	? (点滅)	 ISO感度を高くしてください。 フラッシュをお使いください。 シャッタースピードをより低速側にセットしてください。 絞りを開いて(より小さい数値にして)ください。
Sモード時Bulb 制御不可 Sモード時Time 制御不可	buib (点滅) (点滅)	 シャッタースピードを変えてください。 撮影モードMで撮影してください。
パノラマ撮影を するにはライブ ビューボタンを	EFFECTS (点滅)	撮影モード 口 で撮影を行う場合は、ライブ ビュー表示に切り換えてください。
押してください。 現在のレンズの 焦点距離では撮影 できません。		撮影モード口で撮影を行う場合、焦点距離が 55mm 以下のレンズを使用してください。 ズームレンズの場合は、焦点距離が55mm以 下のズーム位置で使用してください。

こんなとき		
海旦エーター	ファインダー	対処方法
次間 レーク	内表示	
_	~ (点滅)	フラッシュがフル発光しました。撮影に必要 な光量が不足している可能性があります。撮 影距離、絞り、フラッシュ調光範囲、ISO感度 などをご確認ください。
_	↓ /₪ (点滅)	 フラッシュをお使いください。 撮影距離、絞り値、調光範囲、ISO感度などを確認してください。 レンズの焦点距離が18mmより広角になっています。焦点距離を18mm以上にしてください。
何らかの異常を 検出しました。 復旧にはシャッター ボタンをもう一度 押してください。	Eァァ (点滅)	もう一度シャッターボタンを押してくださ い。警告表示が解除されない場合や、頻繁に 警告が表示される場合は、ニコンサービス機 関にご相談ください。
起動エラーが 発生しました。 サービス機関にお問 い合わせください。	Eァァ (点滅)	ニコンサービス機関にご相談ください。
測光機能エラー	& 	ニコンサービス機関にご相談ください。
ライブビューを開 始できません。 カメラ内部の温度 が下がるまでしばら くお待ちください。		カメラ内部の温度が下がるまで、ライブ ビュー撮影または動画撮影を一時休止して ください。

こんなとき		
液晶モニター	ファインダー	対処方法
	内表示	
		• 画像が記録されている SD カードを入れてく
		ださい。
		• 再生メニューの [再生フォルダー設定] を
撮影画像がありま		[記録中のフォルダー] にした後、SDカー
せん。		ドを交換してから、撮影を行わずに画像を
		再生しました。[再生フォルダー設定]を
		[全てのフォルダー] にすると、SDカード
		内の画像を再生できます。
		• パソコンで編集した画像など、DCF規格の画
このファイルは		像ファイルではないため、再生できません。
表示できません。		• 画像ファイルに異常があるため再生できま
		せん。
このファイルは		このカメラで撮影または編集した画像しか画
選択できません。		像編集できません。

主な仕様

■ ニコンデジタルカメラD3300

型式		
型式	レンズ交換式一眼レフレックスタイプデジタルカメラ	
レンズマウント	ニコンFマウント(AF接点付)	
宝堤影両岛	ニコンDXフォーマット、焦点距離が約1.5倍のレンズの	
天旗影画月	FXフォーマットでの画角に相当	
有効画素数		
有効画素数	2416万画素	
撮像素子		
方式	23.5×15.6 mmサイズCMOSセンサー	
総画素数	2478万画素	
	イメージセンサークリーニング、	
ダスト低減機能	イメージダストオフデータ取得(別売Capture NX 2	
	必要)	
記録形式		
	• 撮影モード口(かんたんパノラマ)以外:	
	- 6000×4000ピクセル(サイズL)	
	- 4496×3000ピクセル(サイズM)	
	- 2992×2000ピクセル(サイズS)	
記録画素数	•撮影モード口(かんたんパノラマ):	
	- 4800×1080ピクセル(パノラマ標準:水平移動時)	
	- 1632×4800ピクセル(パノラマ標準:垂直移動時)	
	- 9600×1080ピクセル(パノラマワイド:水平移動時)	
	- 1632×9600ピクセル(パノラマワイド:垂直移動時)	
	• RAW 12ビット(圧縮)	
両毎エード	• JPEG-Baseline 準拠、圧縮率(約): FINE(1/4)、	
回員モート	NORMAL (1/8), BASIC (1/16)	
	 RAWとJPEGの同時記録可能 	
ピクチャー	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、	
コントロールシステム	ポートレート、風景、いずれも調整可能	
	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモ	
記録媒体	リーカード(SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカー	
	ドはUHS-I規格に対応)	

記録形式		
対応規格	DCF 2.0、DPOF、Exif 2.3、PictBridge	
ファインダー		
ファインダー	アイレベル式ペンタミラー使用一眼レフレックス式 ファインダー	
視野率	上下左右とも約95%(対実画面)	
倍率	約0.85倍(50mm f/1.4レンズ使用、∞、-1.0 m-1のとき)	
アイポイント	接眼レンズ面中央から18mm (-1.0 m-1のとき)	
視度調節範囲	$-1.7 \sim +0.5 \text{m}^{-1}$	
ファインダー	8刑クロアマットフクローンバル	
スクリーン		
ミラー	クイックリターン式	
レンズ絞り	瞬間復元式、電子制御式	

レンズ

	• オートフォーカス可能レンズ: AF-S、AF-P、AF-Iレンズ
交換レンズ	• オートフォーカス不可レンズ: AF-S、AF-P、AF-I以外
	のGまたはDタイプレンズ、GまたはDタイプ以外の
	AFレンズ(IX用レンズ、F3AF用レンズは使用不可)、
	Pタイプレンズ、非CPUレンズ(撮影モードM(マニュ
	アル)で使用可能、ただしカメラで測光は不可)
	※開放F値がF5.6以上明るいレンズでフォーカスエイド
	可能

シャッター

型式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター
シャッタースピード	1/4000~30秒(1/3ステップ)、Bulb、Time
フラッシュ同調	V-1/200秒以下の低速シャッターフピードで同調
シャッタースピード	

レリーズ機能

レリーズモード	⑤:1コマ撮影、□:連続撮影、□:静音撮影、○:セ ルフタイマー、 ⁶ 2s:2秒リモコン(ML-L3)、 ⁶ :瞬時 リモコン(ML-L3)
連続撮影速度	最高約5コマ/秒* ※フォーカスモードがマニュアルフォーカスで、撮影 モードがS(シャッター優先オート)またはM(マニュ アル)、1/250秒以上の高速シャッタースピード、その 他が初期設定時

レリーズ機能		
セルフタイマー	作動時間:2、5、10、20秒、撮影コマ数:1~9コマ	
測光方式	420分割RGBセンサーによるTTL開放測光方式	
	• マルチパターン測光: 3D-RGB マルチパターン測光Ⅱ	
	(G、E、またはDタイプレンズ使用時)、RGBマルチパ	
	ターン測光II(その他のCPUレンズ使用時)	
測光モード	 中央部重点測光: Ø8 mm相当を測光(中央部重点度) 	
	約75%)	
	• スポット測光: Ø3.5 mm相当(全画面の約2.5%)を	
	測光、フォーカスポイントに連動して測光位置可動	
	• マルチパターン測光、中央部重点測光:0~20 EV	
測光範囲	• スポット測光: 2~20 EV (ISO 100、f/1.4レンズ使用	
	時、常温20℃)	
露出計連動	CPU連動方式	
	🖀:オート、 🏵 :発光禁止オート、 P: マルチプログラ	
	ムオート (プログラムシフト可能)、S:シャッター優先	
	オート、A:絞り優先オート、M:マニュアル	
	• シーンモード:💈:ポートレート、 🖬:風景、	
	🙅 : こどもスナップ、💐 : スポーツ、🖏 : クローズ	
撮影モード	アップ、 🖸:夜景ポートレート	
	 スペシャルエフェクトモード : 図:ナイトビジョン、 	
	VI:極彩色、POP:ポップ、№:フォトイラスト、	
	😼:カラースケッチ、Ŗ:トイカメラ風、🏘:ミニ	
	チュア効果、🖋:セレクトカラー、🖾:シルエット、	
	🕅 : ハイキー、 🔟 : ローキー、 🛱 : HDRペインティン	
	グ、口:かんたんパノラマ	
霞出補正	P、S、A、M モード時に設定可能、範囲:±5段、補正ス	
	テップ:1/3ステップ	
AEロック	【計(Om)ボタンによる輝度値ロック方式	
ISO感度	ISO 100~12800(1段ステップ)、ISO 12800に対し約	
(推奨露光指数)	1段(ISO 25600相当)の増感、感度自動制御が可能	
アクティブ		
D- ライティング	9 W. UAU	

オートフォーカス		
方式	TTL位相差検出方式:フォーカスポイント11点(うち、 クロスタイプセンサー1点)、マルチCAM 1000オート フォーカスセンサーモジュールで検出、AF 補助光(約 0.5~3 m)付	
検出範囲	-1~+19 EV(ISO 100、常温(20℃))	
レンズサーボ	 オートフォーカス(AF):シングルAFサーボ(AF-S)、 コンティニュアスAFサーボ(AF-C)、AFサーボモード 自動切り換え(AF-A)を選択可能、被写体条件により 自動的に予測駆動フォーカスに移行 マニュアルフォーカス(MF):フォーカスエイド可能 	
フォーカスポイント	11点のフォーカスポイントから選択可能	
AF エリアモード	シングルポイントAF、ダイナミックAF、オートエリア AF、3D-トラッキング(11点)	
フォーカスロック	【拾(On)ボタン、またはシングルAFサーボ(AF-S)時 にシャッターボタン半押し	
フラッシュ		
内蔵フラッシュ	 答、	
調光方式	420分割RGBセンサーによるTTL調光制御 :内蔵フラッ シュ、SB-910、SB-900、SB-800、SB-700、SB-600、 SB-400またはSB-300でi-TTL-BL調光(マルチパターン 測光または中央部重点測光)、スタンダードi-TTL調光 (スポット測光)可能	
フラッシュモード	通常発光オート、赤目軽減オート、通常発光オート+ス ローシャッター、赤目軽減オート+スローシャッター、 通常発光、赤目軽減発光、通常発光+スローシャッター、 赤目軽減発光+スローシャッター、後幕発光+スロー シャッター、後幕発光、発光禁止	
調光補正	範囲:–3~+1段、補正ステップ:1/3ステップ	
レディーライト	内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了 で点灯、フル発光による露出警告時は点滅	

////	
アクセサリーシュー	ホットシュー(ISO 518)装備:シンクロ接点、通信接 点、セーフティーロック機構(ロック穴)付
ニコンクリエイティブ ライティングシステム	 SB-910、SB-900、SB-800またはSB-700を主灯、 SU-800をコマンダーとしたアドバンストワイヤレス ライティングに対応 ニコンクリエイティブライティングシステム対応ス ピードライトとの組み合わせで発光色温度情報伝達に 対応
シンクロターミナル	ホットシューアダプター AS-15(別売)
ホワイトバランス	
ホワイトバランス	オート、電球、蛍光灯(7種)、晴天、フラッシュ、曇 天、晴天日陰、プリセットマニュアル。プリセットマ ニュアル以外はいずれも微調整可能
ライブビュー撮影機能	
レンズサーボ	 オートフォーカス (AF): シングルAFサーボ (AF-S)、 学時AFサーボ (AF-E)
	• マニュアルフォーカス (MF)
AFIJ7E-K	• マニュアルフォーカス(MF) 顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、 ターゲット追尾AF
AFエリアモード フォーカス	 マニュアルフォーカス (MF) 顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、 ターゲット追尾AF コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能(顔認識AFまたはターゲット追尾AFのときは、カメラが決めた位置でAF可能)
AFエリアモード フォーカス おまかせシーン (シーン自動判別)	 マニュアルフォーカス (MF) 顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、 ターゲット追尾AF コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能(顔認識AFまたはターゲット追尾AFのときは、カメラが決めた位置でAF可能) 撮影モード留、③で使用可能
AFエリアモード フォーカス おまかせシーン (シーン自動判別) 動画機能	 マニュアルフォーカス (MF) 顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、 ターゲット追尾AF コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能(顔 認識AFまたはターゲット追尾AFのときは、カメラが決めた位置でAF可能) 撮影モード響、③で使用可能
AFエリアモード フォーカス おまかせシーン (シーン自動判別) 動画機能 測光方式	 マニュアルフォーカス (MF) 顔認識AF、ワイドエリアAF、ノーマルエリアAF、 ターゲット追尾AF コントラストAF方式、全画面の任意の位置でAF可能(顔 認識AFまたはターゲット追尾AFのときは、カメラが決めた位置でAF可能) 撮影モード (3)、③で使用可能

到回1版日日			
記録画素数/ フレームレート	 1920×1080:60p/50p/30p/25p/24p 1280×720:60p/50p 640×424:30p/25p 60p:59.94fps、50p:50fps、30p:29.97fps、25p:25fps、24p:23.976fps 30p/60pは【ビデオ出力】が【NTSC】の場合に選択可能 25p/50pは【ビデオ出力】が【PAL】の場合に選択可能 標準/高画質選択可能 		
ファイル形式	MOV		
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC		
音声記録方式	リニアPCM		
録音装置	内蔵モノラルマイク、外部マイク使用可能(ステレオ録 音)、マイク感度設定可能		
感度	ISO 100~12800、ISO 12800に対し約1段(ISO 25600 相当)の増感		
液晶モニター	液晶モニター		
液晶モニター	3型TFT液晶、約92万ドット(VGA)、視野角170°、 視野率約100%、明るさ調整可能		
再生機能			
再生機能	1コマ再生、サムネイル再生(4、9、72分割またはカレン ダーモード)、拡大再生、動画再生、パノラマ再生、スラ イドショー(静止画/動画選択再生可能)、ヒストグラム表		
	示、ハイライト表示、撮影画像の縦位置自動回転、レー ティング、画像コメント入力可能(英数字36文字まで)		
インターフェース	示、ハイライト表示、撮影画像の縦位置自動回転、レー ティング、画像コメント入力可能(英数字36文字まで)		
インターフェース USB	 示、ハイライト表示、撮影画像の縦位置自動回転、レー ティング、画像コメント入力可能(英数字36文字まで) Hi-Speed USB 		
インターフェース USB ビデオ出力	示、ハイライト表示、撮影画像の縦位置自動回転、レー ティング、画像コメント入力可能(英数字36文字まで) Hi-Speed USB NTSC、PAL		
インターフェース USB ビデオ出力 HDMI出力	示、ハイライト表示、撮影画像の縦位置自動回転、レー ティング、画像コメント入力可能(英数字36文字まで) Hi-Speed USB NTSC、PAL HDMIミニ端子(Type C)装備		
インターフェース USB ビデオ出力 HDMI出力 アクセサリー ターミナル	 示、ハイライト表示、撮影画像の縦位置自動回転、レー ティング、画像コメント入力可能(英数字36文字まで) Hi-Speed USB NTSC、PAL HDMIミニ端子(Type C)装備 ワイヤレスリモートコントローラー WR-1、WR-R10 (別売) リモートコード: MC-DC2(別売) GPSユニット: GP-1/GP-1A(別売) 		

I	表示言語		
	表示言語	日本語、英語	
Ī	電源		
	使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14a(1個使用)	
	ACアダプター	ACアダプター EH-5b(パワーコネクター EP-5Aと組み 合わせて使用)(別売)	
三脚ネジ穴			
	三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)	
Ī	寸法・質量		
	寸法(W×H×D)	約124×98×75.5 mm	
		約460g(バッテリーおよびSDメモリーカードを含む、	
	質量	ボディーキャップを除く)	
		約410g (本体のみ)	
Î	動作習慣		

動作環境

温度	0℃~40℃
湿度	85%以下(結露しないこと)

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規 格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■ バッテリーチャージャー MH-24

電源	AC 100-240 V、50/60 Hz、MAX 0.2 A
定格入力容量	18-24 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.9 A
適応電池	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a
充電時間	EN-EL14a充電時:約1時間50分 ※残量のない状態からの充電時間(周囲温度25℃)
使用温度	0℃~40℃
寸法(W×H×D)	約70×26×97 mm
質量	約96 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

~ AC (交流)、--- DC (直流)、回 クラスⅡ機器 (二重絶縁構造)

■ Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14a

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	7.2 V、1230 mAh
使用温度	0℃~40℃
寸法(W×H×D)	約38×53×14 mm
質量	約49g(端子カバーを除く)

■ レンズAF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR/ AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-P DXレンズ
焦点距離	18 mm–55 mm
最大口径比	1:3.5–5.6
レンズ構成	9群12枚(非球面レンズ2枚)
画角	76° – 28° 50′
焦点距離目盛	18、24、35、45、55 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
ピント会わせ	ステッピングモーターによるオートフォーカス、マニュ
	アルフォーカス可能
手ブレ補正(AF-P DX	
NIKKOR 18–55mm	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
f/3.5–5.6G VRのみ)	
最短撮影距離※1	撮像面から0.25 m(ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚(円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲※2	● 焦点距離18 mm時:f/3.5-22
	● 焦点距離55 mm時:f/5.6-38
測光方式	開放測光
アタッチメント	55 mm (P=0.75 mm)
サイズ	
寸法	約64.5 mm(最大径)× 62.5 mm(レンズマウント基
	準面からレンズ先端まで、沈胴時)
皙噐	AF-P DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR:約205 g
	AF-P DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G:約195 g

※1距離基準マークは撮像面の位置を示します。

※2カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。



■ レンズAF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II

型式	ニコンFマウントCPU内蔵Gタイプ、AF-S DX レンズ
焦点距離	18 mm–55 mm
最大口径比	1:3.5–5.6
レンズ構成	8群11枚(非球面レンズ1枚)
画角	76°– 28° 50′
焦点距離目盛	18、24、35、45、55 mm
撮影距離情報	カメラへの撮影距離情報を出力可能
ズーミング	ズームリングによる回転式
ピント会わせ	超音波モーターによるオートフォーカス、マニュアル
	フォーカス可能
手ブレ補正	ボイスコイルモーター (VCM) によるレンズシフト方式
	•オートフォーカス時:撮像面から0.28m(ズーム全域)
最短撮影距離※1	• マニュアルフォーカス時:撮像面から0.25 m (ズーム
	全域)
絞り羽根枚数	7枚(円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲※2	● 焦点距離18 mm時:f/3.5-22
	● 焦点距離55 mm時:f/5.6-38
測光方式	開放測光
アタッチメントサイズ	52 mm (P=0.75 mm)
+ : ±	約66 mm(最大径)×59.5 mm(レンズマウント基準
אינ	面からレンズ先端まで、沈胴時)
質量	約195 g

※1距離基準マークは撮像面の位置を示します。

※2 カメラの露出値設定のステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があ ります。

- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の誤りなどについての補償はご容赦ください。



FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The FreeType Project (<u>http://www.freetype.org</u>)のものです。すべての権利はその所有者に帰属し ます。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The HarfBuzz Project (http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz) のものです。すべ ての権利はその所有者に帰属します。

電池寿命について

充電したLi-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL14a (1230mAh) に よる電池寿命は、次の通りです。

- 撮影可能コマ数(1コマ撮影モード):約700コマ(CIPA基準準拠※1)
- 撮影可能コマ数(連続撮影モード):約2500コマ(当社試験条件※2)
- 動画撮影可能時間:約55分※3
- ※1 初期設定条件で30秒間隔ごとに撮影レンズを無限遠から至近に1往復フォーカシング動作をさせて1コマ撮影する。ライブビュー撮影なし。1回レリーズ(2回に1回は内蔵フラッシュをフル発光)した後、液晶モニターを4秒間点灯。 消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰り返す。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18-55mm f/3.5-5.6G VR II、温度23(±2)℃。
- ※2 レリーズモード ・フォーカスモードAF-C、画質モードBASIC、画像サイズ M、ホワイトバランスAUTO、ISO 100、シャッタースピード1/250秒、シャッ ターボタンの半押しを3秒間持続後、撮影レンズを無限遠から至近間を3往復 フォーカシング動作させ6回連続レリーズした後、液晶モニターを4秒間点灯 させ、消灯後半押しタイマーがオフになるまで放置。以後同じ動作を繰り返 す。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II (VR機能OFF)、 温度20℃。
- ※3 電池寿命測定方法を定めた CIPA (カメラ映像機器工業会)規格による実撮影 電池寿命です。装着レンズAF-S DX NIKKOR 18–55mm f/3.5–5.6G VR II、温 度23(±2)℃。カメラは初期設定状態。
 - 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は20分(1080/60pまたは1080/50p) です。
 - 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
 - カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- ※ バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環 境によって電池寿命が異なります。

次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- ライブビュー撮影などで液晶モニターを使用した場合
- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- •オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- •低速シャッタースピードで撮影した場合
- GPS ユニット GP-1/GP-1A、ワイヤレスモバイルアダプター WU-1a、 Eye-Fiカードを使用した場合
- VRレンズ使用時にVR(手ブレ補正)機能をONにした場合
- AF-Pレンズ使用時にズーム操作を繰り返した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL14aの性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、充分 な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。
 使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

ニコンプラザのご案内

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映 像製品の総合情報拠点です。お客さまのデジタルイメージングの世界を拡げ、写真 文化の普及、向上に資するよう目指しています。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-10-1 ストラータ ギンザ1・2 階 営業時間:10:30~18:30(年末年始,2月の第1十曜日とその翌日,8月の第2十曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿工ルタワー28階

営業時間:10:30~18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル2階 営業時間:10:30~18:30(日曜日、祝日、年末年始を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階 営業時間:10:30~18:30(年末年始、2月の第3十曜日とその翌日、8月の第3十曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンブラザショールーム (銀座・新宿・名古屋・大阪) ナビダイヤル 0570-02-8080 ニコンプラザサービスセンター (銀座・新宿・名古屋・大阪) ナビダイヤル 0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03)6702-0577 におかけください。

- 補修用性能部品と修理可能期間についてー

補修用性能部品(機能維持に必要な部品)の保有期間内(製造打ち切り後7年 を目安)を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過 後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄 りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障また は破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この 故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関(修理センター、ニコンプラザサービスセンター)、ご購入店、 または最寄りの販売店にご依頼ください。

- 修理センターについては以下で、ニコンプラザサービスセンターについては、 前ページでご案内しています。
- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認 ください(内蔵メモリーがあるカメラでは、メモリー内のデータが消去される場 合があります)。
- 補修用性能部品と修理可能期間については、前ページをご覧ください。

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間:9:30~18:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など 弊社定休日を除く毎日)

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。
- ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。

修理センターナビダイヤル 0570-02-8200

 ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、カスタマーサポートセンター (03) 6702-0577 におかけください。

■ニコン ピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコ ン指定の配送業者(ヤマト運輸)が一括して代行するサービスです。全国一律の料金 にて承ります(大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります)。

<インターネットでのお申込み>

http://www.nikon-image.com/support/repair/

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込み、見積もり金額やインターネットで 申し込んだ修理の進捗状況や納期などの確認ができます。

<フリーダイヤルでのお申込み>

ニコンピックアップサービス専用フリーダイヤル(ヤマト運輸にて承ります) 0120-02-8155

・営業時間:9:00~18:00 (年末年始12/29~1/4を除く毎日)

■ 製品の使い方に関するお問い合わせ

■ニコン カスタマーサポートセンター

営業時間:9:30~18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)

- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。

■お問い合わせ時のお願い

- おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ソフトウェアのトラブルは、おわかりになる範囲で「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OS 名およびバージョン」、「CPU 名およびメモリー容量」、「セキュリティーソフトウェア名」、「問題発生時の操作手順と症状」、エラーメッセージが表示されていたらメッセージ内容などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ファクシミリや郵送でのお問い合わせは、「ご住所」、「お名前(フリガナ)」、「電話番号」、「FAX番号」を(会社の場合は会社名と部署名も)明確にお書きください。

ニコンイメージング (ウェブサイト) /サポートページ http://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。 製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

※修理に関するお問い合わせは、前ページの「修理サービスのご案内」もご参照ください。

株式会社 ニコン

株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in Thailand

6MB20210-05